

一般社団法人レーザー学会
学術講演会第40回年次大会 報告書

会期:2020年1月20日(月)~22日(水)
会場:仙台国際センター

2020年3月
第40回年次大会実行委員

目次

第Ⅰ章

- 1. 第40回年次大会概要 3
- 2. 実行組織
 - 2.1 年次大会組織委員会 6
 - 2.2 年次大会実行委員会 6
 - 2.3 年次大会プログラム委員会 6
- 3. 大会全体スケジュール 8

第Ⅱ章

- 1. 第40回年次大会開催報告 9

第Ⅲ章 各委員会からの報告

- 1. プログラム委員会報告
 - 1.1 講演会概要 16
 - 1.2 講演件数等 19
- 2. 現地実行委員会報告
 - 2.1 総務係 22
 - 2.2 会計係 26
 - 2.3 受付係 31
 - 2.4 会場係 34
 - 2.5 アルバイト係 37
 - 2.6 懇親会係 39
 - 2.7 広報係 46
 - 2.8 事務局 48

第 I 章

1. 第 40 回年次大会概要

(1)会 期 : 2020 年 1 月 20 日(月)～22 日(水)

(2)会 場 : シンポジウム, 招待講演, 一般講演, ポスター講演, 懇親会場 : 仙台国際センター
〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山 <http://www.aobayama.jp/>

(3)主 催 : 一般社団法人レーザー学会

(4)共 催 : 東海大学

(5)大会の概要

下記のとおり, シンポジウム, 招待講演, 一般講演およびポスター講演を実施.

1)シンポジウム(順不同) : 1 月 20 日(月)～22 日(水)

1. スマート農食産業へのレーザー応用

〈協賛〉 (一社)農業食料工学会

2. 多様な要望に応えるスマート大型レーザーシステムとその応用

3. 【日本光学会ジョイントシンポジウム】光技術とAI

4. 皮膚と光

5. 自動車・移動体におけるレーザー応用最前線

〈協賛〉 可視光半導体レーザー応用コンソーシアム, (公社)自動車技術会

6. ロボット分野に期待されるフォトニクスの最前線

7. レーザーのリモートセンシング技術への応用と最新動向

〈協賛〉 レーザセンシング学会

8. 中赤外～テラヘルツ光の新展開

前半:光源技術の進展と高性能化 後半:高強度テラヘルツ光源の開発および応用展開

9. 【応物学会フォトニクス分科会ジョイントシンポジウム】異種材料融合により完成度を高める

シリコンフォトニクス

10. 【応物学会フォトニクス分科会ジョイントシンポジウム】ファイバレーザー ～材料から応用まで～

11. 高出力青色・緑色レーザー開発と加工への応用展開

〈協賛〉 (一社)スマートプロセス学会, (一社)レーザ加工学会, (一社)レーザプラットフォーム協議会

12. レーザー駆動中性子源の研究開発動向及び学術・産業利用に向けた展望

13. レーザープロセッシング技術で拓く医学・生物学研究

〈協賛〉 (一社)日本光学会

14. 大気中の光の伝搬と, 光伝送の応用技術に及ぼす影響

2)招待講演 : ご講演時間 1件 25 分, 質疑討論 5 分 (1 月 20 日(月)～22 日(水))

3)一般講演 : ご講演時間 1件 12 分, 質疑討論 3 分 (1 月 20 日(月)～22 日(水))

4)ポスター講演 : 1 月 21 日(火)・22 日(水)昼 併設展示会場にて実施

5)懇 親 会 : 1 月 21 日(火)18:00～ (有料)

6)併設展示会 : 「Laser Solution 2020」(大会期間中同時開催) : 入場無料

7)参加費 : 大会参加費

正会員および賛助会員: 事前登録 12,000 円(当日 16,000 円)

/学生: 事前登録 3,000 円(当日 5,000 円)

非会員: 事前申込 17,000 円(当日 20,000 円)

/学生: 事前登録 5,000 円(当日 7,000 円)

懇親会参加費

一般: 事前登録 6,000 円(当日 8,000 円)

学生: 事前登録 3,000 円(当日 4,000 円)

※事前登録期間は 2019 年 9 月 2 日(月)から 12 月 6 日(金)17:00 まで

(6)一般講演・ポスター講演募集要領

1)申込要領

申込みは Web を利用. 一般講演登壇者参加者はレーザー学会正会員, 学生会員, 賛助会員に限る.

またポスター講演参加者はレーザー学会学生会員に限る. 発表予定者で非会員の方は, 入会手続き後にお申込みいただく. (入会手続きは学会ホームページにて

: URL: [http://www.lsj.or.jp/LSJHP/LSJhtml/LSJHP04\(Admission\).html](http://www.lsj.or.jp/LSJHP/LSJhtml/LSJHP04(Admission).html))

※申込みについて: 2019年8月20日(火)より申込み受付.

2)予稿原稿作成・提出要領

大会ホームページ(<http://lsj-nenkai.net/>)にて案内.

ポスター講演の参加者は予稿原稿のほか, 当日にポスターを持参.

(ポスターボードサイズは 120cm×180cm. この範囲内で準備のこと.)

3)申込・予稿原稿締切

講演申込期限 2019年 9月23日(月) 予稿原稿提出期限 2019年10月18日(金)

4)ポスター講演の表彰

ポスター発表のうち, 優秀な発表を行った学生に対し「優秀ポスター発表賞」を贈呈する.

5)お問い合わせ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-6

一般社団法人レーザー学会 第40回年次大会実行委員会事務局

(TEL:06-6878-3070 FAX:06-6878-3088 Email: lsj-admin@lsj.or.jp)

講演部門名とキーワード

改訂：2019年6月7日

講演部門	キーワード
A:レーザー物理・化学	レーザー基礎, 量子光学, コヒーレント効果, 非線形光学, レーザー制御(パルス制御, 周波数制御等), レーザー分光, 光誘起化学, 超高速現象・相互作用, レーザー冷却, 原子光学, レーザーマニピュレーション, レーザーカオス等
B:レーザー装置	固体レーザー, 気体レーザー, 液体レーザー, 自由電子レーザー, 波長変換型レーザー, 大出力半導体レーザー(固体レーザー励起用, 直接加工用), 超短パルスレーザー, 高強度(TW/PW)レーザー, XUV/X線レーザー, ファイバレーザー(光コム), レーザー共振器, 位相共役利用高輝度光源, レーザー電源, テラヘルツ発生等
C:高強度・高エネルギーレーザー応用	高強度レーザー科学, 高輝度X線発生・応用, 相対論レーザープラズマ, レーザープラズマ放射線(X線, γ 線, 電子, イオン), レーザー核融合, レーザー粒子加速, レーザー推進, レーザー誘雷, レーザー同位体分離, 大出力CWレーザーと応用等
D:レーザープロセッシング	プロセス基礎・モニタリング, 熱加工(溶接, 切断等), アブレーション, 薄膜形成, 表面改質, 微粒子(クラスター, ナノチューブ等), リソグラフィ, 3次元造形, アニール, ドーピング, 合金化, エッチング, クリーニング, 光化学プロセッシング, 超短パルスプロセッシング, マイクロファブ리케이션等
E:レーザー計測	物性計測, 量子計測, 計測用新光源・検出技術(テラヘルツ計測, X線計測等), ファイバセンサー, プラズマ診断(レーザープラズマ, アブレーション等), 光による反応場計測(燃焼計測, 排気ガス検出等), 環境計測(分析, レーザーレーダ, 大気観測, リーク検出), 光コム(計測)等
F:光機能材料・デバイス	半導体レーザー, 導波路レーザー, 発光デバイス, フォトニック結晶, 非線形光学材料, 光検出器, 光導波路, 光IC, 光電気・磁気・音響デバイス, 各種オプティクス, 光材料(無機・有機), プラズモニクス・メタマテリアル, 赤外・テラヘルツデバイス等
G:光通信・光無線	通信用レーザー光源(WDM用, OTDM用, モード同期等), 光増幅(EDFA, ラマン等), 光信号処理(波長変換, 光スイッチ等), 光ファイバ, パルス伝搬・圧縮(線形伝搬, 非線形伝搬・ソリトン等), 受光デバイス, 光フィルタ, 光通信システム(DWDM, 超高速伝送等), 量子通信, 光無線給電等
H:光情報処理	情報フォトニクス, ナノフォトニクス, デジタルオプティクス, イメージング技術, 情報セキュリティ, インコヒーレント光学, レーザー照明, ディスプレイ(レーザー, LED, 3次元等), ホログラフィ, 空間光変調素子, 画像処理, バイオインフォマティクス, 光記録, 時空間情報処理, 光インターコネクション, 光コンピューティング, システムフォトニクス, スマートピクセル等
I:レーザー医学・生物学	光イメージング(光トモグラフィ, 光トポグラフィ, OCT等), 生物顕微鏡, スペクトロスコピー, 光音響, レーザー治療(アブレーション, PDT・低出力レーザー治療等), 医科・歯科用レーザー, 医用光伝送路(中空ファイバ等), 生体光計測・診断, 医用材料, 生体光物性, バイオテクノロジー応用, 安全性等
<新設> X:複合・新規領域	従来のA～Iの講演部門に当てはまらない新たな分野の講演応募をお待ちしております。 ※一般講演・ポスター講演申込時のキーワードから抽出

<第40回年次大会からの新たな取組み>

■ 講演部門名・分野キーワードの見直し

レーザー学会が訴求したい内容が、外から見て分かり易いように講演部門名・分野キーワードを再考

・A～I部門および分野キーワードを大幅に見直すと、従来のキーワードで発表してきた人達に混乱を

招くため、これらについては分野キーワードの見直し・追加・削除にとどめ、新たに X 部門:複合・新規領域の枠を新設

■ 地方支部 会員勧誘活動の強化

年次大会開催支部(東北・北海道,中国・四国,九州支部限定)の地域の方で、新会員として入会される方に限り、入会金免除、かつ大会年度は年会費無料

■ 公開特別講演会開催の見直し

参加者増に繋がるということで始めた公開特別講演会に代え、シンポジウム講演を充実化

2. 実行組織

2. 1 年次大会組織委員会

委員長	レーザー学会会長	久間和生	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
副委員長	同 副会長	神成文彦	慶應義塾大学
副委員長	同 副会長	阪部周二	京都大学
委員			
山本和久	大阪大学	杉浦博明	三菱電機株式会社
畑中秀和	ウシオ電機株式会社	美濃島 薫	電気通信大学
横谷篤至	宮崎大学	米田仁紀	電気通信大学

2. 2 年次大会実行委員会

実行委員会委員長(兼 募金委員長)	松浦祐司	東北大学
同 副委員長	片桐崇史	富山大学
同 顧問	大越昌幸	防衛大学校
プログラム委員長	南出泰亜	理化学研究所
同 副委員長	佐藤 篤	東北工業大学
同 副委員長	宮本克彦	千葉大学
担当理事/展示会実行委員長	山本和久	大阪大学
展示会事務局長	大澤哲夫	(株)オプトロニクス社
同 委員	三島滋弘	(株)オプトロニクス社
同 顧問	上野直樹	(株)オプトロニクス社

現地実行委員:

総務係	主査	松田信幸	東北大学
会計係	主査	加藤祐次	北海道大学
受付係	主査	木野彩子	東北大学
会場係	主査	盛田伸一	東北大学
アルバイト係	主査	岩井克全	仙台高等専門学校
懇親会係	主査	佐々木 俊英	(株)リコー
広報係	主査	松浦祐司	東北大学

2. 3 年次大会プログラム委員会

A. レーザー 物理・化学	主査 森田隆二 (北海道大) 副査 芦原 聡 (東京大) 委員 山根啓作 (北海道大)	委員 葛西恵介 (東北大)
B. レーザー 装置	主査 小澤祐市 (東北大) 副査 戸倉川正樹(電気通信大) 委員 古瀬裕章 (北見工業大) 委員 沖野友哉 (理研) 委員 湯本正樹 (理研) 委員 大久保 章(産総研) 委員 竹内康樹 (浜松ホトニクス) 委員 東 康弘 (リコー)	
C. 高強度・ 高エネルギー レーザー応用	主査 時田茂樹 (大阪大) 副査 森 芳孝 (光創成大) 委員 有川安信 (大阪大) 委員 籾内俊毅 (高輝度研) 委員 井上峻介 (京都大)	
D. レーザー プロセッシング	主査 宮地悟代 (東京農工大) 副査 寺川光洋 (慶應義塾大) 委員 花田修賢 (弘前大) 委員 溝尻瑞枝 (長岡技科大) 委員 宇野和行 (山梨大) 委員 荒木隼悟 (ニデック) 委員 清水政二 (スペクトロニクス)	
E. レーザー 計測	主査 三森康義 (東北大) 副査 清水亮介 (電気通信大) 委員 岸本 直 (沖電気工業) 委員 東海林 篤 (山梨大) 委員 齋藤伸吾 (情通研機構)	
F. 光機能材料 デバイス	主査 藤原英樹 (北海学園大) 副査 辻 剛志 (島根大) 委員 中村俊博 (法政大) 委員 石川善恵 (産総研) 委員 西島喜明 (横浜国大) 委員 石田周太郎 (santec)	
G. 光通信・ 光無線	主査 廣岡俊彦 (東北大) 副査 高野勝美 (山形大) 委員 松本怜典 (産総研) 委員 白岩雅輝 (情通研機構) 委員 佐藤功紀 (古河電工)	
H. 光情報 処理	主査 山本裕紹 (宇都宮大) 副査 角江 崇 (千葉大) 委員 水谷康弘 (大阪大) 委員 最田裕介 (和歌山大) 委員 佐々木久幸 (NHK) 委員 山崎和良 (日立製作所)	
I. レーザー 医学・生物学	主査 有本英伸 (産総研) 副査 江川麻里子 (資生堂) 委員 近江雅人 (大阪大) 委員 中野和也 (千葉大) 委員 大川晋平 (防衛医科大) 委員 長谷川智士 (宇都宮大)	
X. 複合・ 新規領域	主査 安井武史 (徳島大) 副査 山本裕紹 (宇都宮大) 委員 小倉有紀 (資生堂) 委員 梅田大樹 (日本大) 委員 亀井保博 (基礎生物研) 委員 池田貴裕 (パイフォトニクス)	
シンポジウム 1	主査 水落隆司 (三菱電機)	
シンポジウム 2	主査 兒玉了祐 (大阪大)	
シンポジウム 3	主査 長谷川智士 (宇都宮大)	
シンポジウム 4	主査 安井武史 (徳島大) 主査 小倉有紀 (資生堂)	
シンポジウム 5	主査 山本和久 (大阪大) 主査 平等拓範 (理研)	
シンポジウム 6	主査 村井健介 (産総研)	
シンポジウム 7	主査 石井昌憲 (情通研機構)	
シンポジウム 8	主査 小澤祐市(東北大) 主査 中嶋 誠 (大阪大)	
シンポジウム 9	主査 栗村 直 (物質研機構)	
シンポジウム10	主査 西澤典彦 (名古屋大) 主査 栗村 直 (物質研機構)	
シンポジウム11	主査 塚本雅裕 (大阪大)	
シンポジウム12	主査 三間園興 (光創成大)	
シンポジウム13	主査 有本英伸 (産総研)	
シンポジウム14	主査 高山佳久 (東海大)	
幹事	野竹孝志(理研)	
幹事	吉田真人(東北大)	
幹事	花田修賢(弘前大)	

3. 大会全体スケジュール

レーザー学会第40回年次大会 全体スケジュール

大会日： 2020年1月20日(月)～22日(水) 3日間

開催場所： 仙台国際センター

懇親会場： 仙台国際センター 会議棟2階「桜」

改定：2019年7月28日

年	月	日	実行委員会関係	プログラム委員会	掲載号	会誌/ホームページ
***	7月	27日	東北・北海道地区での開催決定(運営委) 会場・開催時期の検討開始			
***	12月	19日	会場仮予約			
***	8月	3日	会場・開催時期決定(運営委) 実行委員長・プログラム委員長決定(運営委)			
	9月	18日	第40回年次大会第1回基本検討委員会			
	12月	20日	現地実行委員会選抜開始 運営委議会進捗報告			
***	2月	6日	実行委員会準備委員会開催	過去のプログラム委員名簿をもとに プログラム委員会選抜開始		
	4月	19日 24～26日	共催承諾 理事承認：現地実行委員 LASER EXPO出展社への大会支援依頼 実行委員会構成決定	理事会承認：プログラム委員 プログラム委員会構成決定		年次大会支援チラシ作成(4/23) ◆年次大会HP準備開始 (開催案内、実行委員、支援依頼等) ◆年次大会HP(各種支援申込)公開
	5月	14日	第1回実行委員会 ・組織、役割分担の確認 ・スケジュール ・予算案 ・公開特別講演企画→講演依頼 ・シンポジウム ・会場(下見) ・大会賛助・広告・ポスター公募 ポスター制作開始 大会支援依頼 賛助会員への賛助・広告・ 企業広告発表募集・依頼発送	シンポジウム・招待講演案検討 (各主宰、研究委員会に推薦依頼)		ポスター公募有無検討
	6月	7日		第1回プログラム委員会 ・シンポジウム講演者選定(決定) ・招待講演者選定(決定) → 要説者の内容(～5/30) シンポジウム協賛依頼開始	7号	年次大会開催案内1作成(～5/6) ・大会概要 ・講演募集要領 ◆年次大会HPに掲載
	7月	31日	ポスター/チラシ印刷(シンポ、事前参加・ 一般申込みの情報追加) 懇親会・企業見学会画検討 ポスター/チラシの配布、掲示依頼	シンポジウム開催進捗・講演 大会HP掲載 シンポジウム・招待講演(含予稿)依頼 → 依頼状送付、アンケート情報登録依頼	8号	大会案内2作成(～7/6) ・公開特別講演、シンポジウム ・一般講演募集案内 ◆年次大会HPに掲載
	8月	20日	ゆうちょ口座準備(ネットバンク)	一般講演・論文発表、ポスター発表 募集開始 プログラム委員、座長・評価者推薦者への 一般講演申込勧誘のお願い COMFITシステム登録(講演料の等)入力	9号	大会案内3作成(～8/6) ・公開特別講演、シンポジウム ・一般講演募集案内 ◆年次大会HPに掲載
	9月	2日 13日 23日	事前参加申込開始(クレジット決済翌日) 大会案内の会員向け配信、 オフ会エクス配付依頼	シンポジウム・招待講演要領、COMFITシステム 登録デッドライン 一般講演、ポスター発表の 募集締め(登録内報は30日)	10号	事前参加申込み開始(9/1～12/7) 大会案内4作成(～9/24) ・公開特別講演、シンポジウム ◆年次大会HPに掲載
	10月	16日 18日 25日		概略コマ観覧の作成 →各分野でのプログラム、座長・評価者 の検討 第2回プログラム委員会 (COMFITシステム上でプログラム確認) →座長、評価者への依頼、講演者への連絡 予稿(招待/一般)締切 プログラム確定	11号	大会案内5作成(～10/6) →公開特別講演 ・シンポジウム、招待講演 全件 ・講演時の注意事項 企業広告発表案内切(10/18) ◆年次大会HPに掲載
	11月	5日 23日 30日	第2回現地実行委員会 ・必要に応じて会場下見 決算書原稿ノック(12号掲載) 決算書原稿(プログラム、セッション座長表 ・予稿原稿含む)作成完 →中川印刷へ	座長・採点者依頼	12号	大会案内(最終版)作成(～11/6) ・全講演プログラム 展示案内切(11/6) 賛助・広告案内切(11/12) ◆年次大会HPに掲載

	12月	8日	事前参加申込印刷、受付名簿作成	招待講演者に開催日時案内 座長・採点者に予稿送付 各種印刷		◆年次大会HPに掲載(最終版)
###	1月	19日 10～22日	大会前日の第2回規模実行委員会 アルバイ説明会 大会報告書担当決定・依頼 (実行委員長→事務局に連絡) 年次大会当日	論文発表要録候補選定		
	2月		年次大会速報原稿(～2/20) 大会報告書原稿作成 論文発表要録報告承認	大会報告書原稿作成	3号	年次大会速報原稿(2/20)
	3月		第4回規模実行委員会(兼合メール) ・年次大会報告書まとめ ・会計報告 報告書原稿集約(～3/15)			

第II章

1. 第40回年次大会開催報告

レーザー学会学術講演会
第40回年次大会開催報告(速報)

実行委員長 松浦 祐司(東北大学)

1. はじめに

レーザー学会学術講演会第40回年次大会は、2020年1月20日(月)～22日(水)に、宮城県仙台市の仙台国際センターにて開催された。小寒の折にも拘わらず、830名のご参加をいただいた。総講演件数は462件であり、皆様多大なご高配のお蔭で盛会のうちに終えることができた。



第40回年次大会会場
(仙台国際センター)



受付の様子。

2. 講演会

2.1 総論

本大会では462件の講演が行われた。その内訳はシンポジウム講演107件、招待講演84件、一般講演217件、ポスター講演55件であった。また本大会も、企業・団体様((株)オプトサイエンス様、三菱電線工業(株)様)から「企業発表」として計2件の貴重なご発表をいただいた。

2.2 シンポジウム

今大会では、多くの関連学会の協賛の下、以下14のシンポジウムが開催された。

- ・S1：スマート農食産業へのレーザー応用
(協賛：(一社)農食食料工学会)
- ・S2：多様な要望に応えるスマート大型レーザーシステムとその応用
- ・S3：日本光学会ジョイントシンポジウム
光技術とAI
- ・S4：皮膚と光
- ・S5：自動車・移動体におけるレーザー応用最前線
(協賛：可視光半導体レーザー応用コンソーシアム、(公社)自動車技術会)
- ・S6：ロボット分野に期待されるフォトリソの最前

線

- ・S7：レーザーのリモートセンシング技術への応用と最新動向
(協賛：レーザーセンシング学会)
- ・S8：中赤外～テラヘルツ光の新展開
前半：光源技術の進展と高性能化、後半：高強度テラヘルツ光源の開発および応用展開
- ・S9：応物学会フォトリソ分科会ジョイントシンポジウム
異種材料融合により完成度を高めるシリコンフォトリソ
- ・S10：応物学会フォトリソ分科会ジョイントシンポジウム
ファイバレーザー ～材料から応用まで～
- ・S11：高出力青色・緑色レーザー開発と加工への応用展開
(協賛：(一社)スマートプロセス学会、(一社)レーザー加工学会、(一社)レーザープラットフォーム協議会)
- ・S12：レーザー駆動中性子源の研究開発動向及び学術・産業利用に向けた展望
- ・S13：レーザープロセッシング技術で拓く医学・生物学研究
(協賛：(一社)日本光学会)
- ・S14：大気中の光の伝搬と、光伝送の応用技術に及ぼす影響

2.3 優秀論文発表賞・論文発表奨励賞

一般口頭講演217件の中から94件の応募があった。一般講演者の若手の方々が多く応募されており、研究開発に対する地道なご努力の成果であり、これら成果は学会の活性化に繋がるものと期待できる。

2.4 ポスター発表および優秀ポスター発表賞

本大会より初めてポスターセッションを設けた。大会2日目(30件)と3日目(25件)に分けて各日12:15～13:00に計55件の発表があった。優秀ポスター発表賞への応募は30件あり、その内4件が受賞した。優秀ポスター発表賞の受賞式は、プログラム委員長の南出 泰幸先生(理研)ご指導の下、大会2日目の懇親会内で行った。

3. 展示会 Laser Solution 2020

Laser Solutionは年次大会と同時開催される併設展示会であり、大会の全日程で開催された。ご出展をいただきました企業様・団体様をここにご紹介し、改めて厚く御礼申し上げます。

- ・AkiTech LEO(株)様
- ・(株)アートレイ様
- ・(公財)天田財団様
- ・MSHシステムズ(株)
- ・(株)オキサイド様



展示会Laser Solution 2020の様子1.



ポスター発表の様子.



展示会Laser Solution 2020の様子2.

- ・(株)オプトロニクス社様
- ・(株)オフィールジャパン様
- ・(株)オプトクエスト様
- ・(株)オプトサイエンス様
- ・オプトシリウス(株)様
- ・(株)オプトライン様
- ・(株)オプトロニクスサイエンス様
- ・Gooch & Housego Japan(株)様
- ・昭和オプトロニクス(株)様
- ・スペクトラ・フィジックス(株)様
- ・(株)ティー・イー・エム様
- ・(株)東京インスツルメンツ様
- ・トプティカフォトリクス(株)様
- ・日東光器(株)様
- ・日本デバイス(株)様
- ・(株)日本レーザー様
- ・(有)バックス様
- ・パナソニックプロダクションエンジニアリング(株)様
- ・光貿易(株)様
- ・フォトテクニカ(株)様
- ・ブネウム(株)様
- ・三菱電線工業(株)様
- ・(株)安川電機様
- ・横河計測(株)様
- ・ルミバード・ジャパン(株)様
- ・レーザーライン(株)様

また今回も、前大会に引き続き、展示会とポスターセッションを同じ会場で行った。オプトロニクス社様のご厚意により、両日無料の軽食(コーヒー、スナック)もご用意いただいた。コーヒーを片手に、多くの大会参加者の方々に、展示会とポスターセッションにご参加いただいた。

4. 大会賛助

本大会へのご賛助をいただきました企業様・団体様をここにご紹介し、改めまして厚く御礼申し上げます。

- ・(公財)天田財団様
- ・(株)アマダホールディングス様
- ・ウシオ電機(株)様
- ・(株)オカモトオプティクス様
- ・(株)オプトサイエンス様
- ・(株)片岡製作所様
- ・ギガフォトン(株)様
- ・(株)QDレーザ様
- ・スタンレー電気(株)様
- ・(株)東芝様
- ・日亜化学工業(株)様
- ・浜松ホトニクス(株)様
- ・ブネウム(株)様
- ・(株)關場製作所様
- ・三菱電機(株)様
- ・三菱電線工業(株)様
- ・三星ダイヤモンド工業(株)様
- ・(一財)みやぎ産業科学振興基金様
- ・(株)ユニタック様
- ・レーザーテック(株)様
- ・(株)レーザックス様

後援：公益財団法人 仙台観光国際協会

5. 懇親会

大会2日目、1月21日(火)の日程終了後、仙台国際セン

ター内レセプションホール「桜」にて懇親会を開催した。参加者は253名であった。司会は現地実行委員副委員長の片桐 崇史先生(富山大)が務めた。はじめに歓迎挨拶を実行委員長が行い、主催者挨拶をレーザー学会副会長の神成 文彦先生(慶大)よりいただいた。その後、宮城の銘酒・一ノ蔵にて乾杯前の鏡開きを行った。開き手は、レーザー学会副会長の神成 文彦先生、飯部 周二先生(京大)、および実行委員長、実行副委員長、プログラム委員長で実施した。その後の乾杯挨拶を、レーザー学会副会長の飯部 周二先生よりいただいた。

今回の懇親会では、東北の銘酒飲み比べとして、東北

宮城の地酒12種類を取りそろえたコーナーを設置した。加えて、東北のクラフトビール4種を用意し、食材王国みやぎの数々の料理とともに参加者の皆様にお楽しみいただいた。

懇談後、ポスター賞の授賞式を行った。プログラム委員長より講評をいただいた後、4名の受賞者を紹介し賞状を授与した。

懇親会の最後には、九州支部長である横谷 倫至先生(宮崎大)から次回第41回大会のアナウンスがあり、レーザー学会会長の久間 和生先生による閉会挨拶で幕を閉じた。



懇親会の様子1
(松浦 祐司実行委員長の挨拶)。



懇親会の様子4。



懇親会の様子2。



懇親会の様子5
(優秀ポスター発表賞の授賞式)。



懇親会の様子3。



懇親会の様子6
(久間 和生会長の挨拶)。

6. おわりに

最後に、第40回年次大会の実施にあたり、多大なご高配、ご尽力をいただきました。組織委員会、実行委員会、プログラム委員会、展示委員会、現地実行委員会、学会事務局の皆様へ深く感謝申し上げます。

次回第41回年次大会で再会できますことを願っております。

■ 第40回年次大会 セッション別参加者数

分野	セッション	最小	最大	平均	セッション平均
A レーザー物理・化学	A1 レーザーマニピュレーション	15	18	16	23
	A2 プラズモニクス・光物性	20	38	30	
	A3 プラズモニクス	10	22	16	
	A4 超高速現象・レーザー応用	21	28	24	
	A5 非線形光学過程・テラヘルツ波発生	20	32	26	
B レーザー装置	B1 固体レーザー	25	38	32	31
	B2 高出力レーザー	30	46	38	
	B3 紫外レーザー	24	30	27	
	B4 レーザー材料	30	40	35	
	B5 中赤外レーザー	28	40	34	
	B6 ファイバーレーザー	30	40	35	
	B7 波長変換技術	26	36	31	
	B8 レーザーデバイス	20	34	27	
	B9 レーザー制御・解析技術	18	28	23	
C 高強度・高エネルギーレーザー応用	C1 X線自由電子レーザー	10	16	15	20
	C2 プラズマ光源・高出力レーザー応用	6	10	8	
	C3 プラズマ物理	13	30	27	
	C4 高エネルギー密度科学	22	30	25	
	C5 レーザー光源・物理	16	19	17	
	C6 粒子加速	28	29	28	
D レーザープロセッシング	D1 新技術	60	80	70	48
	D2 表面改質	50	70	60	
	D3 微細構造作製	25	35	30	
	D4 積層造形1	60	85	70	
	D5 積層造形2	50	70	60	
	D6 微細加工	40	75	70	
	D7 微粒子生成	10	15	12	
	D8 生体・高分子	8	15	12	
E レーザー計測	E1 化学・溶液計測	13	17	15	22
	E2 干渉計・光コムセンシング	20	30	23	
	E3 大気環境計測・イメージング	40	55	45	
	E4 単一光子計測・量子計測	10	15	13	
	E5 物性計測	20	27	23	
	E6 ファイバー計測	7	14	10	
F 光機能材料・デバイス	F1 光機能材料	16	22	19	24
	F2 発光材料	16	26	21	
	F3 テラヘルツ材料・デバイス	12	18	15	
	F4 レーザー技術の新展開	24	44	34	
	F5 物性計測	20	30	25	
	F6 微細構造を用いた光制御	28	30	29	
G 光通信	G1 光通信システム1	20	30	25	26
	G2 光通信システム2	15	20	17	
	G3 光無線	25	25	25	
	G4 光通信デバイス	10	13	11	
H 光情報処理	H1 情報フォトニクス1	30	40	32	25
	H2 情報フォトニクス2	20	30	25	
	H3 シングルビクセルイメージング	25	40	35	
	H4 ホログラフィ	20	25	25	
	H5 ホログラフィ2	15	20	18	
	H6 デンスプレイ1	15	25	20	
	H7 デンスプレイ2	15	25	20	
I レーザー医学・生物学	I1 光響計測I	19	33	30	26
	I2 光響計測II	22	28	26	
	I3 医用デバイス・システム	22	34	26	
	I4 レーザー治療・診断	36	44	40	
	I5 光学的機能制御	17	22	20	
	I6 生体医用イメージング	13	16	15	
	I7 生体医用深部計測	28	30	28	
X 複合・新規領域	X1 新奇光利用(1)	12	20	16	19
	X2 新奇光利用(2)、AI教育	6	20	13	
	X3 農業応用	26	30	28	

S1	スマート農食産業へのレーザー応用	50 45	70 70	60 60	60
S2	多様な要望に応えるスマート大型レーザーシステムとその応用	40 20	60 40	50 25	38
S3	【日本光学会ジョイントシンポジウム】光技術とAI	18 18	25 22	22 20	21
S4	皮膚と光	30 44	50 52	44 50	47
S5	自動車・移動体におけるレーザー応用最前線	56 58	60 74	58 66	62
S6	ロボット分野に期待されるフォトニクスの最前線	25 22	36 26	30 23	27
S7	レーザーのリモートセンシング技術への応用と最新動向	30 35 10	50 40 20	40 37 17	31
S8	中赤外～テラヘルツ光の新展開 前半:光源技術の進展と高性能化 中赤外～テラヘルツ光の新展開 後半:高強度テラヘルツ光源の開発および応用展開	26 36 48 42	32 50 60 50	30 45 55 46	44
S9	【応用物理学会フォトニクス分科会ジョイントシンポジウム】 異種材料融合により完成度を高めるシリコンフォトニクス	24 16	30 25	25 20	23
S10	【応用物理学会フォトニクス分科会ジョイントシンポジウム】 ファイバレーザー ～材料から応用まで～	60 60	80 80	70 70	70
S11	高出力青色・緑色レーザー開発と加工への応用展開	52 52	62 62	57 57	57
S12	レーザー駆動中性子源の研究開発動向及び学術・産業利用に向けた展望	20 18	28 24	26 20	23
S13	レーザープロセッシング技術で拓く医学・生物学研究	18 21 17 15	22 33 37 17	20 27 27 16	23
S14	大気中の光の伝搬と、光伝送の応用技術に及ぼす影響	10 15 15	20 25 25	15 20 20	18

第三章

1. プログラム委員会報告

1. 1 講演会概要

(1) シンポジウム

今回 14 件のシンポジウムテーマが企画された。以下にそれぞれの開催趣旨を纏める。

NO	シンポジウムタイトル	開催趣旨
S-1	スマート農産物へのレーザー応用	農業・食品分野の環境整備・管理・生産・検査・分析・診断・加工・物流・再利用というフードチェーン全体をスマート化するために、光順・センシング・IoT/AI技術などを駆使しその実現を目指す。農産物分野の有識者・従事者のニーズに対して、レーザー技術者・IoT/AI技術者等が、今使えるシース 技術を提案、検証していくことで新たな応用展開を図る。
S-2	多様な要望に応えるスマート大型レーザーシステムとその応用	新材料創成を中心とするモノづくりや新たな医療応用、さらには生命から宇宙の謎の解明など、広くイノベーション創出にかかわる大型のレーザー・放射光・粒子線システムとその応用技術開発が進められている。これら分野において多様なユーザーの要望に応えるためには、ビッグデータや人工知能を取り入れたサイバーフィジカルシステムの運用が不可欠である。本シンポジウムでは国内・海外の大型システムの現状と課題を俯瞰するとともに、スマート化に向けた技術開発について展望する。
S-3	【日本光学会ジョイントシンポジウム】 光技術とAI	光技術に人工知能(AI)を積極的に取り入れた新しい光学系や光学システムに関する研究が報告されている。本シンポジウムでは「AIと光技術」というテーマで、イメージング、光情報処理、フォトリソ、レーザー医学応用、レーザー加工の分野で活躍されている研究者らにより、AIの具体的な活用事例や最先端の研究成果を紹介、その可能性や将来展望を議論する。
S-4	皮膚と光	光の新しい応用として、美容関連が注目されている。特に、皮膚は表皮層組織で光のアクセスが容易なこともあり、これまでに様々な利用が提案されている。本シンポジウムでは、皮膚計測と見炊えという2つの観点から、各種光学的手法を紹介し、今後の光利用の拡大に繋げる。
S-5	自動車・移動体におけるレーザー応用最前線	自動運転に向けて自動車・移動体分野が活性化、様々な技術革新が起きている。この分野でもレーザーを用いた最新技術が応用されつつあり、従来では考えられなかった高性能・高機能なデバイス・システムが搭載されつつある。レーザー学会では「レーザーの自動車応用」専門委員会が昨年度立ち上がり、本分野の課題および方向性を議論中である。本シンポジウムでは最先端に関する議論を通して、その方向性なども示したい。
S-6	ロボット分野に期待されるフォトリソの最前線	光技術(フォトリソ)とロボット技術(ロボティクス)の融合としての「ロボットフォトリソ」が注目されている。現在のロボットのセンサ系には光デバイスが多数使用され、「現在のロボットは光技術(フォトリソ)なしでは成り立たない」と言っても過言ではない。今回、レーザー学会ロボットフォトリソ専門委員会が中心となり、ロボットの高度化やサービスに期待されるフォトリソの最前線についてシンポジウムを開催する。
S-7	レーザーのリモートセンシング技術への応用と最新動向	レーザーのリモートセンシング技術への応用としてライダー(Lidar)技術があり、距離計測、大気計測、表面計測、垂直計測、風計測など幅広い用途で利用されている。近年、ライダーは、地上設置だけでなく、車や航空機、衛星にも搭載されており、より高度なレーザー技術ならびに先端技術が強く求められている。本シンポジウムでは、ライダー研究において第一線で活躍する講師により、最新のライダー技術とその応用例を紹介し、今後の発展等について議論をする。
S-8	中赤外～テラヘルツ光の新展開 前半:光順技術の進展と高性能化 後半:高強度テラヘルツ光順の開発および応用展開	中赤外～テラヘルツ領域における光順開発において、高強度化や短パルス化といった目覚ましい進展が見られており、これに伴った新しい応用研究も開拓されつつある。本シンポジウムでは、当該領域を横断する先端的な各光順の進展や最新の研究成果について、主要な研究者を一堂に会することで、この領域での光順の現状や最新研究について、全体を俯瞰することができるようにし、さらに各光順での新たな応用展開が広がっていくことを目的とする。
S-9	【応物学会フォトリソ分科会ジョイントシンポジウム】 異種材料融合により完成度を高めるシリコンフォトリソ	シリコンフォトリソは汎用光集積プラットフォームとして著しい成長を遂げ、国内外の最先端ファウンドリを取り込んだ実用化研究の時代を迎えている。着実な進展を遂げてきた光通信技術のみならず、ライダーに代表される光計測技術などにも広く応用されつつある。本シンポジウムでは、主要技術の歴史を経緯を、事業化に向かう大きな困難を俯瞰した上で、異種材料を融合しつづける発展を遂げるシリコンフォトリソ技術を特集する。
S-10	【応物学会フォトリソ分科会ジョイントシンポジウム】 ファイバーレーザー ～材料から応用まで～	ファイバーレーザーの高出力化、高機能化は着実に進展してきている。平均で10kWを超える出力に到達した今、新たな動きとして、材料・デバイスの高機能化、広帯域化などへの取組みがみられる。又、その実用性の高さから、バイオイメージングや医療応用、光周波数コムなどへの応用展開も進展している。本シンポジウムでは、ベースとなる材料から応用展開まで、第一線で活躍する講師により、ファイバーレーザー研究の最新の動向を特集する。
S-11	高出力青色・緑色レーザー開発と加工への応用展開	電気伝導性及び熱伝導性に優れた銅は様々な電気部品に用いられており、それらの高性能化には銅のレーザー加工技術が必要となる。近年、銅への吸収率が高い青色半導体レーザー及び緑色レーザー(YAGレーザーの第二高調波)の高出力化が進み、高品質なレーザー加工が期待されている。本シンポジウムでは、レーザー装置及びプロセス開発の第一線で活躍する講師により、青色及び緑色レーザーの最新の装置及びその運用例を紹介する。

S-12	レーザー駆動中性子源の研究開発動向及び学術・産業利用に向けた展望	学術や産業における中性子源の利用分野が広がり、加速器やレーザー駆動によるコンパクト中性子源が注目されるようになった。その動向は、レーザー学会に設立されたレーザー中性子源利用技術専門委員会において調査され、レーザー研究巻46巻特集号「レーザー駆動中性子源の研究開発動向」、「レーザー駆動中性子源の学術・産業応用に向けた展望」に纏められた。本シンポジウムでは、特集号の内容をベースに、レーザー駆動中性子源の可能性について議論を深める。
S-13	レーザープロセッシング技術で拓く医学・生物学研究	医学・生物学分野において、レーザー技術は計測や加工、変性などに幅広く利用されている。本シンポジウムはレーザープロセッシングと医学・生物学応用の両部門が共催することにより、それぞれの分野の第一線で活躍する研究者による最先端の研究成果に触れ、医学・生物学分野におけるレーザープロセッシング技術のニーズ発掘、および医学・生物学分野で応用可能なまったく新しい技術概念を創出する契機となることを期待する。
S-14	大気中の光の伝搬と、光伝送の応用技術に及ぼす影響	レーザーの空間伝搬は、通信、計測、観測、エネルギー伝送、レーザー推進など幅広く利用され始めており、これらに共通した課題として、大気中を伝搬する光波への大気揺らぎの影響が挙げられる。伝搬光への大気影響の推定、計測、補償、制御手法、および光の空間伝搬を利用する応用技術について、様々な技術を背景とする技術者、研究者間の情報交換や議論・連携の促進を図る。

(2) ポスター講演

1) 運営要領

1. ポスター発表応募数

総数 55件

A: 3、B: 12、C: 4、D: 3、E: 4、F: 9、G: 0、H: 3、I: 17、X: 0

うち表彰対象数 30件

A: 2、B: 6、C: 3、D: 2、E: 0、F: 5、G: 0、H: 2、I: 10、X: 0

2. ポスター発表運営要領案

<ポスター発表>

・パネルの準備

★使用可能なポスターボードサイズとボード数 120 cm×180 cm 28枚+予備

※ポスターボード1枚に表裏で2枚のポスターが貼れる。

・A～I、X部門で整理し、登録番号を割り振る。

・ポスターは併設展示会場に2両日（1月21日および22日の12:15～13:30）とも掲示するが、発表者は少なくともコアの時間は必ずポスターの前で説明を行うこととする。

（コアの時間：表彰対象者30名は1月21日、表彰対象者外25名は1月22日

日程の振り分け方については、表彰の対象者か対象外かで分けていることを明記する）

<優秀ポスター発表賞の選考>

・表彰対象案件のポスターには印をつける。

・コアの時間（1月21日12:15～13:15）に審査員が評価する。（審査票案は別紙参照）

・1ポスターを3人の審査員で評価。部門ごとに審査員をたてる。評価基準は「発表内容」「ポスターの見栄え」「プレゼンテーション（英語可）」とする。

推薦理由は24点以上に対して記入いただくこととし、表彰者の選定で判断に困ったとき参考にする。

<表彰審査および表彰>

- ・1月21日評価終了後、審査員は受付に審査票を提出。審査結果を集計（13:15～13:30）し、プログラム委員長・副委員長により優秀ポスター発表賞を選ぶ。（応募総数の10%程度の3～4名）
- ・同一分野からの選出は避ける。
- ・13:30以降速やかに受付付近で優秀ポスター発表賞内定者を掲示により発表する。
また該当のポスターには花マークをつける。
- ・表彰式は懇親会の席上で行うものとし、受賞者は参加費無料とする。
（表彰状は事務局で準備）

2) ポスター発表賞審査票（例）

ポスター発表賞 審査票（例）

_____分野 審査員 氏名_____

ポスターNO： A1

タイトル： 自発パラメトリック下方変換光子対の

高精度位相整合スペクトル評価方法の開発

氏名： 及川 憧

所属： 東北大学

評点			評点 計	推薦理由 ※評点 計が <u>24点以上</u> の場合必ず記入のこと。
① 発表内容 (10点満点)	② ポスターの 見栄え (10点満点)	③ プレゼンテ ーション (10点満点)		
	ト			

★1月21日 12:15～13:15の間に審査してもらい、記入いただいた審査票を
すみやかに受付まで提出願います。
その後 13:30までに集計・審査を行ない、表彰対象を決定いたしますので
ご協力ください。

1. 2 講演件数等

今回の部門別講演件数を表1に示す。カッコ内の数字は前年度実績を示す。また、主な機関別の講演件数を表2に示す。

表1. 講演部門別講演件数 () は昨年度実績

講演部門名	特別講演・ シンポジウム	招待講演数	一般講演数・ ポスターセッション	優秀論文発表 賞 応募数(内数) [応募率 %]
公開特別講演	0 (3)			
シンポジウム講演	107 (106)			
部門別講演				
A. レーザー物理・化学		8 (7)	16 (17)	7 [44]
B. レーザー装置		9 (11)	41 (44)	18 [44]
C. 高強度・高エネルギーレーザー応用		8 (7)	23 (17)	7 [30]
D. レーザープロセッシング		8 (7)	38 (45)	22 [58]
E. レーザー計測		9 (6)	16 (26)	6 [38]
F. 光機能材料・デバイス		7 (8)	19 (12)	8 [42]
G. 光通信		10 (6)	6 (3)	2 [33]
H. 光情報処理		12 (6)	24 (10)	11 [46]
I. レーザー医学・生物学		8 (7)	27 (22)	12 [44]
X.		5 (0)	6 (0)	0 [0]
ポスターセッション			55 (41)	24 [59]
合計	107 (109)	84 (65)	271 (237)	83 (95)
講演総数 : 462 (411)				

表2. 主な発表機関別の発表件数 (登壇者所属機関; 順不同)

学校・高専	341件	筑波大学	6
大阪大学	46	東京工業大学	6
東北大学	37	名古屋大学	6
宇都宮大学	24	東海大学	5
京都大学	21	東京農工大学	5
電気通信大学	19	光産業創成大学院大学	5
東京大学	16	北見工業大学	4
千葉大学	13	大阪府立大学	4
慶応義塾大学	9	九州大学	4
北海道大学	9	徳島大学	4
近畿大学	8	防衛医科大学校	4

山形大学	4	弘前大学	1
長岡技術科学大学	4	広島大学	1
奈良先端科学技術		福岡大学	1
大学院大学	4	北海学園大学	1
大阪市立大学	3	名城大学	1
関西学院大学	3	山梨大学	1
神戸大学	3	立命館大学	1
埼玉大学	3	国際基督教大学	1
静岡大学	3	室蘭工業大学	1
同志社大学	3	仙台高等専門学校	1
富山大学	3	総合研究大学院大学	1
豊田工業大学	3	兵庫県立大学	1
千歳科学技術大学	3		
愛知工業大学	2	企業	5 5 件
島根大学	2	浜松ホトニクス株式会社	6
東北工業大学	2	三菱電機株式会社	6
福井大学	2	株式会社オキサイド	3
防衛大学校	2	日本電信電話株式会社	2
法政大学	2	株式会社ニデック	2
三重大学	2	資生堂グローバル	
明治大学	2	イノベーションセンター	2
横浜国立大学	2	NHK 放送技術研究所	1
和歌山大学	2	NTT 物性科学基礎研究所	1
秋田県立大学	1	NTT 未来ねっと研究所	1
秋田大学	1	アイオーコア株式会社	1
阿南工業高等専門学校	1	ウシオオプト	
大分大学	1	セミコンダクター株式会社	1
大阪産業大学	1	エバ・ジャパン株式会社	1
岡山大学	1	おゆみの中央病院	1
香川大学	1	株式会社東芝	1
岐阜大学	1	コヒレント・ジャパン	
群馬大学	1	株式会社	1
佐賀大学	1	シブヤ精機株式会社	1
千葉工業大学	1	ソニーコンピュータ	
中部大学	1	サイエンス研究所	1
東京工科大学	1	トヨタ自動車株式会社	1
東京理科大学	1	トルンプ株式会社	1
浜松医科大学	1	パナソニックプロダクション	

エンジニアリング株式会社	1	北陽電機株式会社	1
ヤマザキマザック株式会社	1		
レーザーライン株式会社	1	公的研究機関	65件
花王株式会社	1	理化学研究所	20
株式会社 ユニタック	1	量子科学技術研究開発機構	9
株式会社 ワールドラボ	1	産業技術総合研究所	9
株式会社 日立製作所	1	自然科学研究機構	8
株式会社 オプトサイエンス	1	情報通信研究機構	6
株式会社 キャットアイ	1	高輝度光科学研究センター	3
株式会社 クボタ	1	レーザー技術総合研究所	3
株式会社 タマリ工業	1	国立環境研究所	2
株式会社 フジクラ	1	宇宙航空研究開発機構	1
株式会社 島津製作所	1	日本原子力研究開発機構	1
住友電気工業株式会社	1	農研機構	1
駿河精機株式会社	1	福島ロボットテスト	
藤田医科大学ばんだね病院		フィールド	1
皮膚科	1	大阪産業技術研究所	1
日亜化学工業株式会社	1		
日本電気株式会社	1	海外	1件
日本放送協会		中央研究院（台湾）	
放送技術研究所	1	應用科學研究センター	1
富士通株式会社	1		

2. 現地実行委員会報告

2. 1 総務係

松田 信幸（主査）

2. 1. 1 概要

総務係では、実行委員会開催と議事録の作成、さらに事前作業として、
保険加入／本部機材の手配／実行委員、アルバイト等の弁当手配／実行委員、アルバイト学生の名札の
手配、

当日作業として、

本部の設営／本部のお茶と茶菓子の手配／写真撮影とアルバイト係への撮影指示／本部での電話（事務局
保有の携帯）対応／業者からの弁当の受け取りと配布、ゴミ回収対応／各種掲示物の作成と連絡版へ
の掲示／クローク作業補助

を担当した。昼食の確保については、松浦委員長を中心に検討いただいた。

当日は、急病等のトラブルが発生することなく無事に終えることができた。なお今大会よりプログラム
が web 化され、前年まで総務係担当の予稿集（USB）の準備は不要となった。同じく総務係担当の企業
見学会の実施もなかった。

2. 1. 2 実行委員会の開催

第1回現地実行委員会

日時：2019年5月14日（火）13：30～15：30

場所：東北大学工学部電子情報システム応物系2号館104号室

第2回現地実行委員会

日時：2019年11月5日（火）13：30～17：00

場所：仙台国際センター 会議棟2F 小会議室4

第3回現地実行委員会

日時：2020年1月19日（土）18：00～19：30

場所：仙台国際センター 第III会場（展示棟1F 会議室3A）

第4回現地実行委員会

新型コロナウイルス感染症のため中止

添付資料1、2：第1回実行委員会議事録、第2回実行委員会議事録

第3回実行委員会については当日の連絡事項のみのため議事録無し

2. 1. 3 作業内容

【事前準備】

(1) 傷害保険加入

前回大会で利用していた東海ウイング（株）で保険を手配した。39回大会を参考に、前回同様の傷
害保険の内容で、3日間でのべ140名で見積もりを取得し、契約依頼した。

12/12に東海ウイングに連絡、見積もり依頼、契約書類は事務局へ転送し、契約の手続きは事務局で

12/25 頃に実施。

年次大会後、1/27 に延べ人数 138 名分の名簿を東海ウイング（株）に提出した。名簿は松浦委員長、片桐副委員長、現地実行委員 14 名、事務局 3 名、アルバイト学生 27 名から欠席者を除いて 1 日ごとに氏名、性別を記載したものを作成した。

添付資料 3：保険見積

(2) 本部機材の手配について

本部機材については、ノートパソコン、インクジェットプリンター、プリント用紙、電源タップを持ち込んだ。緊急連絡用の携帯電話は事務局で用意。また、前年の報告書を参考に、必要になりそうな文房具類を事前に購入したが、結果として購入せずとも問題なかった。

(3) 弁当手配（現地スタッフ、各種委員会向け）

現地スタッフ（松浦委員長、片桐副委員長、現地実行委員、プログラム委員、事務局、アルバイト学生）分の弁当に加え、別会合分（下記 5 件）について弁当を手配した。

- ・東京支部委員会（20 日、7 名）
- ・光・レーザー安全技術専門委員会（20 日、6 名）
- ・スマート農食産業へのレーザー応用専門委員会（21 日、14 名）
- ・編集委員会（21 日、19 名）
- ・理事会（22 日、13 名）

手配先の業者については、仙台の弁当屋「味のおりがみ」とした（松浦委員長が選定）。

- ・現地スタッフ用：700 円の弁当＋165 円のお茶
- ・各種委員会用：1000 円の弁当＋165 円のお茶

とし、内容は業者に任せた。弁当ガラは無料で回収していただいた。

（12/18 に打合せ、概数連絡、1/10 に個数連絡、領収書宛名連絡、1/18 に内容確定）

(4) ランチマップの作成

会場周辺に食事処が少ないため、ランチマップを用意した。仙台観光協会作成の会場周辺のランチマップに、観光協会の許可を得て、東北大学内の食堂の情報を追加し、当日受付で配布した。印刷は業者に 300 部依頼したが、結果的に大幅に余った。また広報担当が 12 月頃に大会ホームページに PDF ファイルを掲載した。

添付資料 4：配布したランチマップ

(5) 実行委員、アルバイト学生の名札の手配

名札ケースは事務局所有のものを用いた。名札のみを作成した。

下記フォーマットで現地実行委員、事務局、アルバイトの他に松浦委員長、片桐副委員長、プログラ

ム委員の名札を作成した。

レーザー学会学術講演会第40回年次大会 実行委員長 東北大学 松浦 祐司	レーザー学会学術講演会第40回年次大会 実行委員 副委員長 富山大学 片桐 崇史
---	---

【当日作業】

- ・本部の設営

会議室の机をスクール形式から2つの島の形式に変更。

- ・本部のお茶と茶菓子の手配

近隣のスーパーやコンビニより、お茶やジュース等の2Lペットボトル、茶菓子、紙コップを購入した。金額は3日間全体で約5,000円だった。

- ・写真撮影とアルバイト係への撮影指示

本部アルバイト2名と松田で分担して写真撮影を行った。カメラは事務局のもの1台と、総務係の私物を1台用意した。

- ・本部での電話（事務局保有の携帯）対応

本部に置かれた事務局保有の携帯の電話対応を行った。実際のところ、外部や参加者からの連絡はなく、受付側スタッフとのやりとりに用いた。

- ・業者からの弁当の受け取りと配布、ゴミ回収対応

業者からの弁当を受け取り、場所ごとに分けて配布した。配送指定時間は11:00~12:00としたが、3日もそれより前に納品された。弁当ガラは翌日（最終日は15時ごろ）に業者が回収。

- ・忘れ物・落とし物の保管・連絡版への掲示

- ・クローク作業補助

2日目と3日目に、必要に応じてクロークの作業補助を行った。

2. 1. 4 申し送り事項

- ・本部で作成・印刷が必要な案件が多く、本部へのPCおよびプリンタの設置は必須である。また、今年から予稿集の公開日が当日になったが、事情により予稿を閲覧するためのPCを持参できなかった参加者が、本部のプリンタで予稿を印刷していく場面があった。

- ・前回大会で用意されていた緊急連絡先については、会場側によると緊急の場合は119番で対応しているとのことであったため、特に準備しなかった。

2. 1. 5 年次大会開催期間の昼食の確保

松浦 祐司（委員長）

会場内のレストランが休業中で、周辺にもレストランが少なく、昼休みが45分と短いことから地下

鉄で繁華街まで移動するのもハードルが高いという状況の下、大会参加者の昼食の確保が懸案事項となり、検討を行った。最終的に、Web 上でお弁当の事前予約を受け付ける形とした。申し込みフォームは Google フォームで作成し、参加登録ページとは別に設置、事務局から参加登録者に向け何度かアナウンスを行った。弁当は 2 種類（小分け弁当とホッキ弁当、各 1000 円）から選べる形とした。

結果、大会 2 日目には 30 名、3 日目には 27 名の予約があった。各日 10 個ずつ予備を追加し準備したところ、不足することはなかった。

2. 2 会計係

会計係 加藤祐次（主査）

協力：牧野理恵（事務局）

2. 2. 1 概要

今回の第40回年次大会は、第32回大会以来8年ぶりの東北開催であった。賛助金・助成金は目標額以上を達成し、広告収入はほぼ目標額となった。更に、委員各位のご尽力により一般参加者数が大幅に伸び、余裕のある収支となり、最終的に2,879,015円（暫定）の黒字となった。

2. 2. 2 主な作業内容

(1) 大会前々日まで（～1/18）

- ・事務局で準備されているゆうちょ銀行口座の通帳とキャッシュカードの受け取り
- ・賛助金の入金確認（ゆうちょダイレクトまたは通帳記帳にて照合）
- ・当日の Protokol 作成
- ・アルバイト代の支払い金額の把握（事務局、アルバイト係と連携）
- ・アルバイト代 548,250 円、釣り銭 300,000 円（千円札 300 枚）をゆうちょ銀行から引き出し、準備
- ・上記用封筒、領収書受け取り（事務局より送付）、封筒に宛名記入、領収書に金額等必要事項記入
- ・アルバイト代、釣り銭の封筒詰め、管理
- ・入金用金融機関の現地確認
- ・各種支払い手続き（必要に応じて随時）

(2) 大会前日（1/19）

- ・会場内の現金取り扱い場所確認（受付付近）
- ・受付係との連携確認
- ・事前立替金の清算
- ・アルバイトシフト変更に伴い、事前準備したアルバイト代の領収書、封筒詰した金額の修正(総額 548,250 円から 568,250 円に変更)

(3) 大会期間中（1/20,21,22）

- ・当日参加登録に関する現金取扱（受付係経由で現金授受）、1万円札回収作業、クレジット対応
- ・アルバイト代支給および領収書回収(アルバイト係に依頼)
- ・入金手続き（事務局対応、随時）
- ・各種支払の対応
- ・立替精算
- ・入出金額の確認（受付記録との照合）

(4) 大会終了後（1/23～）

- ・会計報告の作成
- ・現金照合および残金を口座へ振込
- ・各種支払い手続き
- ・賛助金、広告費等の入金確認

- ・通帳、キャッシュカードを事務局へ返却

2. 2. 3 収支について

「1. 概要」に記載の通りである。表1に「レーザー学会学術講演会第40回年次大会収支決算書」、表2に「年次大会賛助金一覧」、表3に「年次大会広告掲載費」を示す（賛助金と広告掲載費は全て入金を確認した）。

2. 2. 4 反省事項及び次年度への申し送り事項

(1) 銀行口座開設について

・事務局保有ゆうちょ銀行口座を利用したため、オンライン手続きが可能であり、各種手続きが手間なく処理できた。

(2) 通帳、キャッシュカード、現金の取り扱いについて

- ・すべて主査が管理した。通帳、キャッシュカードは会期中、主査のセキュリティポーチで保管した。
- ・大会前および会期中の現金について、受付中の参加費に関する現金は事務局準備の金庫、アルバイト代や支払い準備金は主査保有の金庫と両者を分けて管理した。各日の受付終了後、銀行入金金額を差し引いた参加費の残額をまとめて主査保有金庫に移して、翌日に備えた。例年、大会期間中の現金の管理方法は会計担当者の負担となっているところから、今後の改善が望まれる。ただ、今大会においては、特に問題は発生しなかったことも付記する。
- ・会期中毎日1回入金した。今回会計係は1名のため、安全を考慮し、1名で最寄りの郵便局までタクシーで往復した。
- ・クレジットカード払は予想よりも多かった。端末手続きは比較的簡便で履歴にも残るため、後の集計が楽であった。クレジットカード払が推奨されれば会計の負担は少なくなる。ただ、手数料やアルバイトの端末操作の問題点もある。

(3) 釣り銭の準備について

- ・大会前に千円札300枚用意した。この枚数であれば会期中不足となる事態は生じなかった。なお、次第書が500円のため、釣り銭500円硬貨が別途必要だった。そのため、急遽会計係主査の立替にて対応した。今後、次第書の価格を1,000円とし、釣り銭準備の簡素化できればと良いと思う。

(4) 大会中の受付係との現金授受、照合について

- ・受付の背後に会計係作業場所を設置した。
- ・会計担当者は1名のため、原則として主査または事務局最低1名は、会計係作業場所に詰めるようにした。
- ・当日参加登録分の現金授受に関して、専用のチェックシート（添付資料参照）を用意し、アルバイト2名での対応を基本とした。主査は事務局の協力を仰ぎながら、現金の管理、入金およびクレジット対応に当たった。なお、前回大会で受付レーン毎の管理の重要性が指摘されていたため、今回はそれを参考にし、アルバイト2名で2レーン並列対応をした。そのため、集計の手間が少なかった。

た。

- ・受付係と、現金の取り扱いについて事前に作業のすり合わせを行った（添付資料参照）。なお、参加費登録用紙については、会計係は当日登録分のみの回収・管理を行い、会計用チェックシートとの照合に利用した。
- ・賛助会員、各種委員、座長、評価者、協賛学協会会員は正会員と同金額となるため、当日登録の受付でそれぞれ分けて記録することも想定したが、現金管理や集計では非常に煩雑となるため、すぐに全て正会員扱いとし一律にカウントした（参加費登録用紙により後から分類できる）。今後も、会計管理の観点から、正会員扱いと非会員の別に単純化して当日の会計処理に望むことがよいと考える。会計用のチェックシートもそれに応じて、簡略化したものを準備すればよかった。また、クレジット扱いも増えてきているため、クレジット専用のチェックシートの準備も今後必要と考える。

添付資料5～6：会計チェックシート、当日作業プロトコル

(5) アルバイト代支給について

- ・延べ約80名分必要なため、現金、領収書、封筒は宛名書き、金額記入を含め事前に全て準備した。
なお、アルバイトのシフト変更については、前日までにはアルバイト係から連絡があったため、当日までに調整でき支給に問題は生じなかった。
- ・今回は、受付と大会本部が離れていることもあり、アルバイト代の支給と領収書の回収は、毎日にアルバイト係に依頼した。

(6) 懇親会会場での対応について

- ・懇親会会場においても懇親会受付できるよう、受付係と協力のうえ、釣り銭、受付用紙、ネームプレートを用意した。

(7) その他

- ・今回は主査1名で担当したため、アルバイトはもちろん事務局と受付係の大きな協力を得た。
- ・口座は最後の委員会（今回は新型コロナウイルスのため中止）まで会計が管理し、入金チェックと支払手続きを行う。
- ・各種支払は、振込可能なものは随時行い、立替に関しては主査が遠方のため、大会開催中まとめて精算した。立替対応頂いた現地実行委員の協力によりスムーズな処理ができた。
- ・会計の業務は主として大会直前の現金管理から大会後の収支決算までであるが、事前準備も漏らさず進める必要がある。

表 1

第40回年次大会 予算書(案)

一般社団法人 レーザー学会
 第40回年次大会実行委員長 松浦祐司
 (単位:円)

科目	予算額 a	決算額b	差異 a-b	備考
I. 収入の部				
1. 賛助金・助成金	3,950,000	4,157,360	△ 207,360	
賛助金	2,730,000	2,937,360	△ 207,360	100千円/口×35口
仙台観光国際協会助成金	1,220,000	1,220,000	0	
2. 参加費収入	7,300,000	7,704,000	0	
正会員収入(事前)		3,012,000		12千円×251人
学生会員収入(事前)		399,000		3千円×133人
非会員学生収入(事前)		35,000		5千円×7人
非会員収入(事前)		374,000		17千円×22人
正会員収入(当日)		2,224,000		16千円×139人(クレジット17名含)
学生会員収入(当日)		265,000		5千円×53人(クレジット1名含)
非会員学生収入(当日)		35,000		7千円×5人
非会員収入(当日)		1,360,000		20千円×68人(クレジット9名含)
3. 広告収入	600,000	583,054	16,946	
広告収入	600,000	583,054	16,946	約8頁
4. 展示会収入	300,000	524,875	△ 224,875	
	300,000	524,875	△ 224,875	
5. 懇親会	870,000	1,205,000	△ 335,000	
参加費一般(事前)	720,000	522,000	198,000	6千円×87人
参加費学生(事前)	150,000	39,000	111,000	3千円×13人
参加費一般(当日)		544,000		8千円×68人(クレジット4名含)
参加費学生(当日)		100,000		4千円×25人
6. その他	0	270,852	△ 270,852	
次第書販売収入		1,500		5百円×3冊
弁当販売収入		69,000		1千円×69食
展示会増小間分	0	200,000	0	
口座利息	0	2	△ 2	
保険料余剰金	0	350	0	
収入合計 (A)	13,020,000	14,445,141	△ 1,425,141	
II. 支出の部				
1. 会場費	4,046,000	4,041,223	4,777	*1
会場借料	3,846,000	3,597,923	248,077	
会場設営	200,000	443,300	△ 243,300	看板, 案内版
2. 会議費(会場費+交通費)	2,100,000	1,853,860	246,140	印刷費, 会場費, 交流会(プログラム委員会)等
3. 年次大会管理システム使用料	600,000	574,780	25,220	
	600,000	574,780		
4. 印刷費	900,000	671,797	228,203	
講演案内, 参加章他	300,000	64,372	235,628	
次第書	400,000	438,900	△ 38,900	
ポスター/ チラシ	200,000	168,525	31,475	
5. アルバイト	700,000	568,250	131,750	受付, 会場 (3日 @1000 1日上限9000円)
6. 講演者交通費, 謝礼	0		0	
公開特別講演講師謝礼	0		0	
交通費	0		0	
7. 懇親会費	1,300,000	1,304,660	△ 4,660	
8. 通信費	300,000	124,282	175,718	郵送料 宅配便43570円追加済
9. 大会HP作成費	500,000	469,542		PayPal 決済WEB作成料
10. 雑費	700,000	514,960	185,040	保険代, 文具, 弁当代, 講演機材,
11. 手数料	300,000	190,998	50,000	事前登録手数料(175,156)クレジット 手数料(15,842)
12. その他	374,000	51,774	322,226	源泉徴収, 振込手数料等
13. 経費	1,200,000	1,200,000	0	
当期支出合計(B)	13,020,000	11,566,126	1,453,874	
収支差異(C)	0	2,879,015	△ 2,879,015	

*1 展示会場使用料および理事会, 各種委員会の会場使用料を控除後の金額

表 2

第40回年次大会賛助金一覧

No	企業名	会員区分	口数	金額(円)
1	三菱電機(株)	賛助		437,360
2	(一財)みやぎ産業科学振興基金		1	100,000
3	浜松ホトニクス(株)	賛助	2	200,000
4	公益財団法人天田財団	賛助	1	100,000
5	(株)ユニタック	賛助	1	100,000
6	(株)レーザックス	賛助	1	100,000
7	(株)QDレーザ	賛助	1	100,000
8	(株)片岡製作所	賛助	1	100,000
9	ギガフoton(株)	賛助	1	100,000
10	プネウム(株)	賛助	1	100,000
11	ウシオ電機(株)	賛助	1	100,000
12	日亜化学工業(株)	賛助	1	100,000
13	三菱電線工業(株)	賛助	銀	250,000
14	三星ダイヤモンド工業株式会社	賛助	1	100,000
15	(株)東芝	賛助	1	100,000
16	レーザーテック(株)	賛助	1	100,000
17	(株)オプトサイエンス	賛助	銀	250,000
18	株式会社オカモトオプティクス	賛助	1	100,000
19	株式会社堀場製作所	賛助	1	100,000
20	(株)アマダホールディングス	賛助	1	100,000
21	スタンレー電気(株)	賛助	1	100,000
22	(株)オプトロニクス社展示会賛助金	賛助	1	100,000
	合 計		20	2,937,360
	参考: 予算額			2,730,000

表 3

第40回年次大会広告申込状況一覧

No.	企業名	会員区分	掲載料 (税込)
1	三菱電機	賛助 パック	75,504
2	アマダホールディングス		132,000
3	シグマ光機株式会社	賛助	63,800
4	オプトサイエンス社	賛助 パック	49,500
5	AMPLITUDE JAPAN 合同会社	非	62,500
6	プネウム株式会社	賛助	44,000
7	オプトテック株式会社	非	55,000
8	株式会社オプトロニクス社	非	55,000
9	スペクトロニクス株式会社		44,000
10	三菱電線工業	賛助 パック	0
	合計		581,304
	参考: 予算額		600,000

2. 3 受付係

木野彩子（主査）

2. 3. 1 概要

受付係は、受付会場の配置、名簿・物品準備、受付設営、大会期間中の受付業務を担当した。

受付業務は、参加者への対応、大会および懇親会参加費の領収と会計係への引き渡し、次第書ほか関係資料の配布、弁当販売（第2,3日のみ、主に事前予約者向け）、学生ポスターセッション審査票の回収（第2日のみ）であった。以上に関する内容と、今後の参考として申し送り事項を以下に記す。

2. 3. 2 業務内容

(1) 事前作業

- 各種受付名簿の作成（学会事務局より受け取ったデータを元に作成）

事前登録者受付名簿は同じものを[レーンA][レーンB][マスタ]の3部作成し、受付状況を各日の終わりに読み合わせ集計する。

講義 添削付	氏名	フリガナ	所属	正会員	非会員一般	学生	非会員学生	懇親会一般	懇親会学生	備考(会員番号)	依頼講演者
1	廣木 誠	アオキ マコト	情報通信研究機構	12,000						S7	ア
2	藤松 俊光	アサツフミテル	大阪大学	12,000				6,000		4359	イ
3	浅田 森輔	アサダ キョウスケ	京都大学			3,000				6889	ウ
4	朝比奈 利廣	アサヒナトシヒロ	株式会社ハスコ		17,000						エ
5	戸原 聡	アシハラ サトシ	東京大学生産技術研究所	12,000				6,000		6016	オオキ
6	戸原 将彰	アシハラ マサアキ	福井県工業技術センター	12,000						7012	オオク
7	瀧部 雅生	アソベ マサキ	東海大学	12,000						6168	
8	安宅 翔晶	アタキ クニアキ	大阪大学大学院			3,000				7147	
9	安達 弘典	アタダ ヒロノリ	福島ロボットテストフィールド	12,000							S6
10	阿部 絵里菜	アベ エリナ	宇都宮大学			3,000				7146	カワムラ
11	木野 洋	アマノ ヒロシ	千葉大学 大学院 工学研究院			3,000				7182	カワムラ
12	荒木 隼梧	アラキ シュンゴ	(株)ニデック	12,000				6,000		5719	B
13	安東 勲太	アンドウ コウタ	京都大学 エネルギー環工学研究所	12,000						7113	キ
14	安藤 晋哉	アンラク キョウヤ	宇都宮大学				5,000				ク
15	井口 忠利	イグチ タダシ	東京応化工業株式会社		17,000						ク
16	池末 明生	イケス エ アキオ	(株)ワールドラボ	12,000						2818	B
17	池田 佳奈美	イケダ カナミ	大阪府立大学	12,000							H
18	池田 真由	イケダ マユ	電気通信大学			3,000				6938	H
19	池田 昌文	イケダ マサフミ	産研機構	12,000				6,000			S1
20	石井 博	イシケンジ	三菱電機株式会社	12,000							G

氏名(五十音順)の隣に区分で色分けされた参加章&領収書の色を示し、どれを渡すべきか一目でわかるようにした

この他、招待講演者・シンポジウム講演者・公開特別講演者・受賞記念講演者・名誉会員・座長・採点者・学会賛助会員・年次大会賛助企業名簿を印刷し、全て特別受付に配置した。

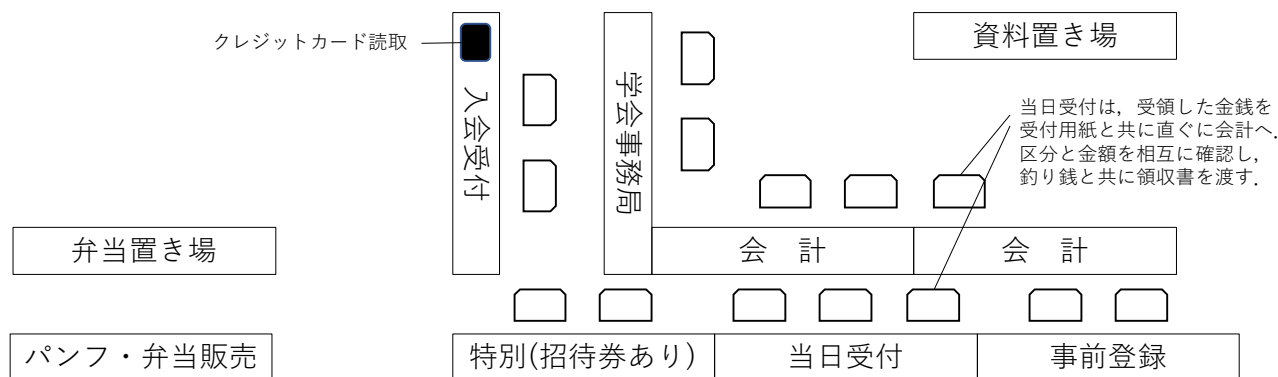
- 受付の表示の作成 [事前登録] [当日受付] [特別受付(引換券あり)] [記載台] 各 B4 判 x 2 枚
- 受付作業手順書(アルバイトマニュアル/別添)の作成
- 弁当予約者名簿の作成(広報・総務と連携)
- 仙台国際観光協会より、市内観光案内パンフ類、県外参加者向けアンケート用紙等の受け取り

添付資料7：受付アルバイトマニュアル

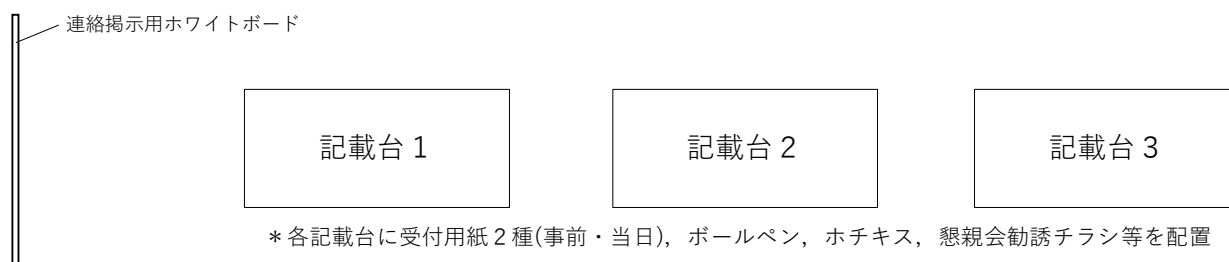
(2) 前日作業 (1月19日 18:00～)

- ・ 受付会場の準備, 設営 (学会事務局・会計係と相談, 次頁参照)
- ・ 配布物 (参加章&領収書, 次第書, 懇親会案内, ランチマップ, 各種観光案内パンフ等) の配置
- ・ 受付事務作業キット (文房具他) の確認

*ホチキスはレーザー学会事務局より貸与あり, ボールペン 20 本程度は別途用意した。



*各受付に名簿, 参加章&領収書, ホルダー, 次第書, 座長用名札を配置



受付全体図

受付は, ①事前登録 (2レーン) ②当日登録 (3レーン) ③招待券あり特別 (2レーン) の 3種類とした。①②とも受付用紙に記載台で記入後, 並んでもらう。③のみ記入せず, 名刺と招待券をホチキスで綴り招待者名簿と照合・チェックする形にした。

(3) 当日作業 (1月20 - 22日)

- ・ アルバイトへの説明 (受付作業手順書)
- ・ 受付業務の実施
- ・ 各種問い合わせへの対応
- ・ 弁当販売 (1月21, 22日のみ)
- ・ ポスター審査用紙の回収 (1月21日のみ)

受付区分の高所表示推奨の申し送りあり



申し送り事項

- ・ 事前登録者にも受付用紙を記入してもらうことになり疑問もあったが, イレギュラーな区分等もあり, 受付通過数の事後確認の意味でもやはり記入いただいて正解だった。
- ・ 「自分は招待講演者だが, やはり学会参加費を支払うのか?」という類の問い合わせが結構あり,

その都度学会事務局に確認を要した。

とにかく“学会から事前に送られてくる招待券がなければ徴収あり”を周知徹底する。

- 今回から予稿集アクセスキーを参加章に記入する形式となった。この件に関する問い合わせも多かったが、次回以降は浸透していくものと思われる。紛らわしいスペルに関する質問も複数あったため、読み方の併記なども検討したい。

2. 4 会場係

盛田伸一 (主査)

2. 4. 1 概要

第40回年次大会は、2020年1月20日(月)～22日(水)の3日間、仙台国際センターで行われた。一般講演会場として会議棟の1～3階と展示棟を、展示会(Laser Solution 2020)およびポスターセッション会場として展示棟をそれぞれ使用した。

参加受付は地下鉄駅に最も近い展示棟の展示会場(展示室1-A)入口に設置した。受付への誘導の混乱はほとんどなかった。一方、メインの講演会場である会議棟が少し離れており、少し問合せを受けたため、順路を示す掲示を多く設置し対応した。会場レイアウトは次の通り。

第40回年次大会会場平面図

展示棟



会議棟1階



会議棟2階



会議棟3階



会場系の業務内容は、

- ① 会場アクセス図の作成，会場内建物配置図の作成，会場内外の各種案内板の印刷・設置
 - ② 一般講演および特別講演会会場，クロークの設営，運営，会場係アルバイトのマニュアル作成と講演会場およびクロークの設営，運営に関わるアルバイトへの当日の指示
 - ③ 展示会場およびポスターセッション会場の設営（オプトロニクス社との共同作業）
- であり，随時，顧問，実行委員長，事務局に相談しながら作業を行った。

②に関しては，講演会会場に必要な設備（プロジェクタ，スクリーン，VGA ケーブル，ノート PC，プロジェクタ制御機器，マイクなど）は，プロジェクタを一部持ち込んだ以外は，会場に備え付けのものをレンタルした。また予備のプロジェクタも準備した。プロジェクタ関連の機器に関する講演中の深刻なトラブルはなかった。各講演会場に アルバイト 1 名を配置した。

各会場の予約時間は次の表の通りである。加えて前日の準備のため、会議室 3A と展示室 1 を 1/19 (日) の 18:00～21:30 まで予約した。なお、各日の予約開始時間については、時間よりも早めに各部屋を空けてもらえるかどうか事前に会場に確認し、もし難しいようであれば少し時間に余裕をみて予約することが望ましい。

会場	部屋	1/20 本番		1/21 本番		1/22 本番		レンタル機器			
		開始	終了	開始	終了	開始	終了	レイアウトPA	プロジェクスクリーン		
I	会議室1			9:00	16:45	9:00	15:00	スクール	○	○	○
II	会議室2	13:30	16:45	9:00	17:30	9:00	12:45	スクール	○	○	○
III	会議室3A	13:30	17:30	9:00	17:30	9:00	15:00	シアター	○	○	○
IV	会議室3B			9:00	17:30	9:00	15:00	シアター	○		○
V	会議室4A	13:30	17:30	9:00	17:30	9:00	12:15	シアター	○		○
VI	会議室4B			10:45	17:00	9:00	14:45	シアター	○	○	○
VII	小会議室1	13:30	17:15	9:00	17:30	9:00	14:45	シアター	○	○	○
VIII	小会議室2			9:00	17:15	9:00	12:15	シアター	○	○	○
IX	白樫1	13:30	16:45	9:00	16:45	9:00	12:15	スクール	○	○	○
X	白樫2	13:30	17:00	9:00	17:15	9:00	15:00	シアター	○	○	○
XI	小会議室6	13:30	16:30	9:30	16:45	9:00	14:45	シアター	○		○
XII	小会議室7			9:00	17:30	9:00	15:15	シアター	○		○
X III	小会議室4					9:00	12:45	シアター	○	○	○
P	展示室 1	13:30	17:00	9:00	17:30	9:00	15:00	別図			
本部	小会議室3	13:30	17:00	9:00	17:30	9:00	15:00	スクール			
懇親会場	桜			17:30	20:00			別図	○		

添付資料 8～9：展示会場レイアウト、会場予約一覧

2. 5 アルバイト係

岩井克全（主査）

アルバイト係の担当事項としては下記の2項目が割り当てられている。

- (1) 必要アルバイト人数の集計，確保
- (2) アルバイトの出勤管理，報告書作成

以下，準備期間中と会議期間中における活動報告をまとめる。

2. 5. 1 準備経緯

1) 大会 11 週間前

岩井が不在のため，事務局の高浜様が説明された。

- ・ 前日 1/19 はアルバイト無しとする。
- ・ 各係は必要時間帯と人数をアルバイト係に連絡する。事務局はアルバイト不要。
- ・ アルバイトは東北大学の松浦研と山田研で確保。人数が決まったら調整。
- ・ 1/20 のアルバイト集合時間は9時。実行委員は8時。
- ・ 前日の実行委員会が必要に応じて。
- ・ アルバイトの確定はできるだけ早く。総務で保険を掛ける必要もある。必要なアルバイト数については各係から速やかに連絡。

2) 大会 8 週間前

上記を基に、「アルバイト募集要項」を作成し、東北大学の松浦研と山田研の研究室、学生・院生へ通知を依頼

3) 大会 6 週間前

応募者名を入れた「アルバイト配置案」を作成後、東北大学の松浦先生と東北大学の松田先生へ送付して確認を依頼

4) 大会 4 週間前

- a) 応募者名を入れた「アルバイト配置案」を作成後、各担当の先生方へ送付して確認を依頼
- b) 大会前日の説明会に向け、各係の先生方へ下記内容の依頼メールを送付
 - ・ アルバイトへの説明用マニュアル作成
 - ・ 大会前日の説明会でマニュアルを使った作業詳細の説明

5) 大会前日

実行委員会に参加

6) 大会初日の午前中

説明会を開き、各係の作業説明と設営を行った

2. 5. 2 大会期間中

- 1) 本部内に出勤簿を掲示し、期間中に出勤簿取り扱いについて説明を行った
- 2) その後は、各係に展開して担当の先生方の指示系統に入り、配置完了

2. 5. 3 反省点

過去の大会運営指針に則って行ったので、大きなトラブルはなく無事に遂行できた

2. 5. 4 申し送り事項

なし

2. 5. 5 添付資料

添付資料10：アルバイト募集のお知らせ

添付資料11：出勤簿

2. 6 懇親会係

佐々木俊英（主査）

懇親会係の担当は、レーザー学会 2 日目に行われる懇親会に関わる業務一般である。
準備作業や実施状況、今後の参考となる情報を以下に纏める。

2. 6. 1 作業内容

《事前準備》

【会場選定】

今回、会場は学会と同じ仙台国際センター内のひとつの会議室を用いることが事前に決まっていたため会場選定をする必要は無かった。

【ケータリング業者の選定・打合せ】

会場の仙台国際センターで懇親会等をする場合は、指定のケータリングメーカーがあり、その中から選定する必要がある。

第二回の現地実行委員会にて、ケータリングメーカーを「東北大学 四季彩」に依頼することが決定。価格帯と、サービス内容、会場となる国際センターでのケータリング実績が選定理由となった。

● 打合せ(1 回目)

- 日時：2019 年 12 月 6 日 14 時、 場所：レストラン四季彩
- 出席者：阿部様(レストラン四季彩)、松浦先生(東北大学)、佐々木(リコー)
- 5,000 円/人、200 人参加を想定して見積もりを依頼。
- 日本酒は利き酒コーナーとして別途懇親会委員が用意する旨を合意。
- 宮城の食材を活かした料理を出しつつも、前回の懇親会を踏まえ食事の量を多めにしてほしいと依頼した。
- レイアウト等は年明けにもう一度打合せを実施し、その際に詳細検討することとした。

● 打合せ(2 回目)

- 日時：2020 年 1 月 8 日 15 時、 場所：レストラン四季彩
- 出席者：阿部様(レストラン四季彩)、松浦先生(東北大学)、田村様(アンバーロンド)、佐々木(リコー)
- レストラン四季彩様との整合事項
 - ◇ 1 回目の打合せの通り、5,000 円/人、200 人参加を想定して発注。

- ◇ 当日決めたレイアウトのたたき台を清書し、懇親会係へ送付して頂く。懇親会係が内容確認後、国際センターへ送付することとした。
 - ◇ 厨房の利用の有無、固形燃料など火気の使用などを四季彩様から国際センターへ連絡して頂く。
 - ◇ 鏡割り時の養生の依頼。
- ▶ アンバーロード様との整合事項
- ◇ 4種類の宮城県クラフトビールをそれぞれ 60L 用意すること
 - ◇ ビールサーバーの持ちこみ、当日使用するコップ、および当日の作業をアンバーロード様が担当する。
 - ◇ 見積もりを懇親会係へ送付頂く。

【余興】

- 第二回現地実行委員会にて、余興は無しとすることを決定。
- 余興を無しとする代わりに、乾杯時に鏡開きの実施、東北の日本酒利き酒コーナーの設置、宮城のクラフトビールコーナーを設置することとした。

【お酒の手配】

1. 鏡割り手配

(ア) 一ノ蔵酒類販売(株)に以下の鏡開き一式を依頼。

(イ) 四斗ステンレス樽、木づち 4 本、一ノ蔵 特別純米酒(1.8L)×8

(ウ) 発注～納品流れ

- | | | |
|---|-------|-------------------------|
| ① | 11月上旬 | 発注打診 |
| ② | 12/18 | 見積もり 着 |
| ③ | 1/21 | 鏡開き一式 納品(納品場所：仙台国際センター) |
| ④ | 1/22 | 鏡開き一式 返却(返品場所：東北大学 四季彩) |

※当日の返却が出来なかったため、ケータリングメーカーの四季彩様に対応頂いた。

2. 東北の日本酒利き酒コーナー

(ア) 東北の日本酒を 12 種類 18 本用意。

(イ) 利き酒コーナーで用いるコップはレストラン四季彩様でご用意頂いた

(ウ) 発注～納品流れ

- | | | |
|---|-------|------------|
| ① | 11/22 | 仙台の酒店へ手配依頼 |
|---|-------|------------|

- ② 1/5 銘柄選定の連絡・見積もり依頼
- ③ 1/19 酒店へ懇親会係が取りに行く。現金立替払い。

3. 宮城県クラフトビール

(ア) アンバーロンド様へ依頼

(イ) 4種類の宮城県クラフトビールをビールサーバーで各 60L ずつご用意頂いた。

(ウ) 発注～納品流れ

- ① 12/17 富山大学片桐先生より打診して頂く。
- ② 1/8 打ち合わせ&見積もり依頼
- ③ 1/14 見積もり着・発注
- ④ 1/24 請求書払い。

【準備物】

- チラシの作成
 - 学会会場で配布する懇親会を作成。
 - 記録写真を参照。
 - 500部印刷。
- 式次第の作成
 - 下記、式次第を参照。

【事前準備作業】

- ① 当日の懇親会受付手配 : 受付係と連携
- ② 当日の写真撮影手配 : 総務係と連携
- ③ 横断幕の手配 : 看板等は他と一緒に一括手配のため無し。

【当日作業】

- ① 懇親会会場の解錠 15時～
- ② 横断幕の設置 15時～
- ③ 料理等の準備 16時～ ※レストラン四季彩様、アンバーロンド様
- ④ 進行確認 17時～ ※富山大学 片桐先生
- ⑤ 開場 17時50分
- ⑥ 懇親会開始 18時～
- ⑦ 受付撤収 18時20分～

⑧	懇親会中締め	20時～
⑨	料理等片付け	20時～
⑩	横断幕の片付け	20時半～
⑪	懇親会の施錠	21時

2. 6. 2 参考・所感

- イ) 想定参加者数 200 名に対して大幅に参加者が増えた。クラフトビールコーナーは 19 : 40 過ぎには完売、日本酒利き酒コーナーも人気の銘柄から順次無くなり、20 時前には 12 銘柄 18 本全て完売、ケータリングによる瓶ビールも 19 時過ぎに無くなり、懇親会中に追加発注で対応した。
- ロ) 料理に関して、四季彩様の献立のおかげで最後まで一部残っているものもあり、参加者は満足して頂いたと思う。お酒に関しては、日本酒だけでなくクラフトビールコーナーを設けたのが好評だった。日本酒コーナーも人気の銘柄は 15 分ほどで無くなるほどとても盛況だった。
- ハ) 開場準備は、レストラン四季彩様が仙台国際センターでのケータリング実績もあったことで会場設営・料理段取り・片付けで全てお任せの対応となり、こちらで対応することはほぼ無かった。
- ニ) 当日まで、名誉会員の方が参加されるか分からず、参加した場合は懇親会で鏡開きに参加して頂く、という不確定要素の中で準備をしたため、事務局との連携が必要だった。
- ホ) 現地実行委員会にて、懇親会の横断幕の発注は懇親会係で決まったが、看板の一式発注の中で懇親会の横断幕も含まれていることも分かり、急遽こちらで発注していた看板をキャンセルした。次回以降気を付けて頂ければと思う。

2. 6. 3 懇親会経費

1.	横断幕印刷・設置	¥0-
2.	料理ケータリング	¥1,011,500
3.	鏡開き一式	¥23,918
4.	宮城クラフトビール	¥184,000
5.	日本酒利き酒	¥85,242
	合計	¥1,304,660

2. 6. 4 式次第

レーザー学会 第40回年次大会 懇親会式次第

日時:2020年1月21日 18時00分～20時00分

開場:仙台国際センター 会議棟2F「桜」

司会:富山大学 片桐先生

【式次第】

- 18:00 開会挨拶 実行委員長:東北大学 松浦先生
18:10 鏡開き ご発声 レーザー学会副会長(慶応義塾大学 神成先生)
(※神成先生へは事前にメールにて依頼。)

【鏡開き実施 先生方】

- ・第40回年次大会 実行委員長 東北大学 松浦先生
- ・プログラム委員長 理化学研究所 南出先生
- ・レーザー学会副会長 慶応義塾大学 神成先生
- ・レーザー学会副会長 京都大学 阪部先生
- ・レーザー学会名誉会員 岡 様

- 18:15 乾杯 ・レーザー学会副会長 (京都大学 阪部先生)

18:15～ 歓談

- 19:20 ポスター賞 プログラム委員会
・表彰者紹介:南出先生
・プレゼンター:松浦先生
・表彰者から一言

19:45 次回開催予定紹介

次回第41回年次大会

2021年1月18日

福岡県 北九州市の北九州国際会議場。

九州支部 支部長 宮崎大学 横谷先生

- 19:50 中締め挨拶 レーザー学会 会長 久間先生

以上。

《記録写真》



横断幕・ステージ



会場全景



鏡開き



乾杯の御発声



ポスター賞 表彰

懇親会のお知らせ

「魅せましょう！伊達なおもてなし！食材王国みやぎのメニューと、東北の銘酒のコラボ」



特設 東北の銘酒 呑み比べ





食事メニュー	日本酒利き酒コーナー	東北クラフトビールコーナー
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仙台名物牛タン焼き ✓ 宮城名物笹蕪餅田楽 ✓ 新仙台名物麻婆やきそば ✓ 宮城の手煮鍋 ✓ 宮城七ヶ浜産殻付き焼牡蠣 ✓ 温泉白石産種山菜添え ✓ 輝り寿司三種 ✓ 宮城名物ずんだ餅、他にも多数の料理をご用意 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 田酒 (青森) ✓ 尾正宗 (青森) ✓ AKABU (岩手) ✓ 山本 (秋田) ✓ 日高晃 (宮城) ✓ 勝山 (宮城) ✓ 出羽桜 (山形) ✓ 十四代 (福島) ✓ 会津高泉 (福島)、他 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 田沢湖ビール・ピルスナー樽生(秋田・仙北) ✓ 仙南クラフトビール樽生(宮城・角田) ✓ やくらいビール樽生(宮城・加美) ✓ いわて蔵ビール・三陸牡蠣のクラフト・樽生(岩手・一関)

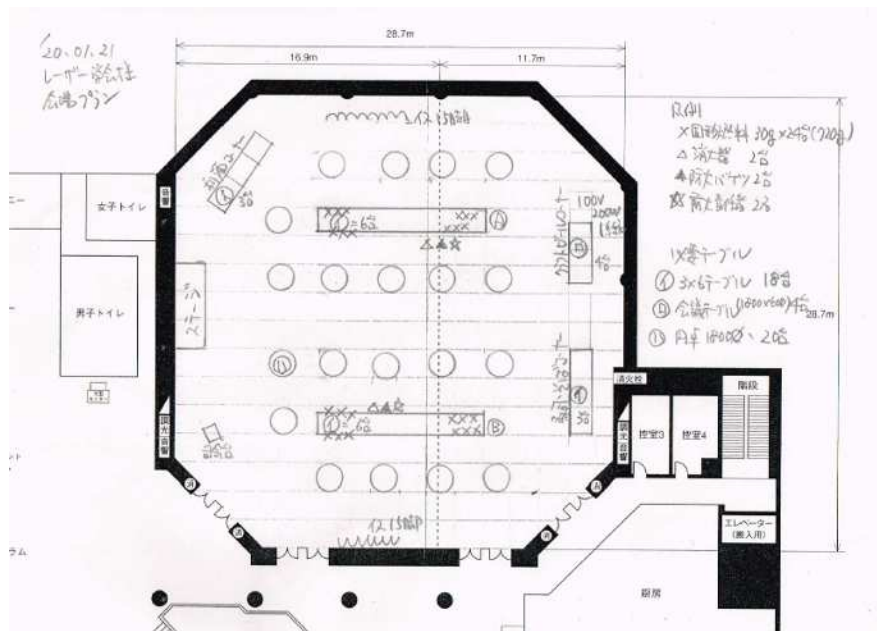
鏡開きのご用意 宮城の銘酒・一ノ蔵にて乾杯前の鏡開きを行います。数量限定、こちらませひご堪能ください。

- 日時 1月21日(火) 午後18時～
- 会費 当日一般 8,000円
当日学生 4,000円
- 場所 会議棟2F「桜」

問い合わせ 懇親会係 佐々木(050-3814-0944)



会場内で配布したビラ



会場レイアウト図

2.2.7 広報係

松浦祐司 (主査)

広報係では、ポスター、チラシ等のデザイン、および、年次大会ホームページの加筆、修正をおこなった。実施したタスクをタイムラインで以下に示す。

- 3/18 事務局と相談の上、賛助依頼チラシを作成。(委員長タスク?)
- 4/4 旧ウェブページに次期大会の開催日程、会場情報、実行委員リスト等を掲載。
- 5/9 新ウェブページ見積依頼。昨年まで作成を依頼していたブランドコンセプト社は反応が遅いので、在仙の他社(ハイクリエイティブ社)に依頼。その際、昨年までは WordPress が用いられていたが、今回からプログラム公開や参加登録は外部サイト(プログラムは Confit, 登録は Paypal (ブランドコンセプト社経由))で行うことになったため、よりシンプルで更新が容易な、html でページ作成を行うこととした。なおデザインは従来のものを踏襲した。
- 6/12 ウェブページテストサイト完成。事務局で契約しているさくらインターネットのサイトへアップロード。
- 6/17 賛助申込のフォームを含め、ほぼ完成。
- 6/18 ウェブサイト公開。
- 6/19 大会概要(事務局より提供)を掲載。
- 6/24 事務局より提供のデザイン案をもとにチラシ作成。印刷依頼。A4 サイズ 400 部。納期 3 日。
- 6/25 ポスター見積依頼。A2 サイズ 500 部。封入用折加工あり。デザインは業者に依頼。ポスターに掲載する Laser Solution ロゴ、レーザー学会ロゴを事務局より入手。学会ロゴは低解像度のものしかない。
- 7/4 ポスター納品。
- 7/19 ウェブサイトに賛助会社のロゴを掲載。その後の追加分は企業からもらったロゴを加工してサイズを揃えて自分で更新作業を行う。
- 8/13 8/20 から一般申込開始のため、申込サイト(Confit)へのリンクをウェブページに掲載。
- 8/30 9/2 から事前登録開始のため、登録サイトへのリンクをウェブページに掲載。
- 11/5 大会用看板作成依頼。
- 11/8 大会 twitter ページ作成。
- 11/15 Confit プログラムサイトに開催情報を記載。

- 12/2 会場係，オプトロニクス社と相談しながら，会場レイアウト案作成.
- 12/2 事前登録を促す文章と，登録料金表（事前と当日の両方を記載）をウェブページに掲載.
- 12/5 会場平面図をウェブページに掲載.
- 1/7 当日販売の弁当について，予約フォームを Google Forms で作成し，リンクをウェブページに掲載.
- 1/16 ウェブサイトに講演時の PC、および接続についての記述を記載（英語も）.

2. 8 事務局

事務局にて準備した物品リストおよび各係の準備事項チェックリストを下記に示す。

2. 8, 1 第40回年次大会 事務局が準備する物品リスト

品 名		内 訳 ・ 備 考
総務関連	カメラ	デジカメ:1台(総務係:別途1台(+下記付属品一式)を準備願います) 付属品一式(メモカード, 等)
	クローク用札	200枚(50個×4色),白70枚 計 270枚
	各種名簿	役員, 名誉会員, シンポ・招待講演者, 座長, 実行・プログラム委員, 等々
	名札ケース	実行委員: 黒 30枚(名札自体は総務係に準備頂く), アルバイター: 赤 30枚(名札自体は総務係に準備頂く)
受付関連	資料 [前日, 会場納入]	次第書(プログラム):500部,事前登録受付用紙A5:500枚,当日受付用紙B5:600枚 ※2000部作成(会員1500,大会賛助・広告等の非会員100,シンポ・招待の非会員120, 当日の非会員280)
	参加章・領収書	参加章兼領収書: 正会員・賛助会員(前330,当600), 学生会員(前120,当150), 一般非会員 (前70,当300), 学生非会員(前18,当70) 8種 懇親会参加章兼領収書: 一般(前120,当250), 学生(前40,当60) 4種 ※それぞれ事前・当日の2種を用意 ・次第書(500円)の領収書
	受付用名簿	賛助会員, 大会賛助会社, および役員, 名誉会員, シンポジウム, 招待, 座長, 評価者, 実行・ プログラム委員名簿を事務局より受付係に送付
	備品	花リボン…赤大花(ポスター発+表賞受賞者、お客様?):3個+予備2 白大花(会長, 実行委員長):3個+予備2 招待ゴム印:1個, お金ケース:10個
	座長・評価者用資料 …封筒に挿入	座長名札: 78枚 (評価者は不要)
	掲示・PR資料 …ホワイトボード・ 受付資料台展示	年次大会ポスター: 10部 ・連絡事項1部 セッション・座長表(ピンク):A3版5枚 ・協賛団体一覧4部 会場平面図(ピンク):A3版10枚, A4版10枚 ・賛助会社一覧4部 ISOM'20チラシ一式 ※会誌・研究会報告展示用机 2台
	資料用封筒	A4版封筒:50部, 布袋:19個
	カウンター	2個(懇親会参加者計数用)
会場関連	会場用品セット	ポインタ赤13本、予備2 ・各電池予備 ストップウォッチ:13個+予備2 ・バル:13個+予備2 ポスター貼り付けパネル, ポスター発表賞受賞花マーク:リボン 8個 D-sub:15個(両端VGAオス),変換機:15個(HDMI-VGAメス) ポストイト大:13個+予備2, ホッチキス:あるだけ 太マジックペン(黒, 赤):13本+予備2 ・セロテープ:13個+予備2 座長マニュアル13+1, アルバイトマニュアル13+1, 講演者マニュアル13+1, 会場用ソフトケース13+2 ※会場数分用意:13会場
	座長用予稿集	会場備付用(座長用)として印刷したものを置く(持出厳禁)
	会場係 アルバイト用資料	講演進行状況報告書:100枚 セッション数必要 採点表受入箱とチェック名簿, 編集委員会論文推薦受入箱

会計関連	電卓、現金カウンタ 封筒、領収書 通帳 クレジット決済用機器	電卓:3台, 現金カウンタ:1台, ハンディカウンター:1台 長3封筒(アルバイト代用):100部+領収書→会計係へ(11/5) 通帳一式→会計係へ(11/5) クレジット決済用機器AirPayカードリーダー:一式、・現金保管庫,
	現金	受付用つり銭
事務局専用分	受付用品	受付テーブル表示, 文具, 領収書, 入金箱, 入会案内冊子, 入会案内ビラ, 宅配便送状(11枚), ガムテープ等, 白布, ゴミ袋, カイロ, マスク, 救急セット 論文発表採点用紙予備:20枚, 講演者略歴表(シンボ/受賞記念講演予備: 件) 会誌見本:47.1~47.12号各1冊(含:購入申込書)…※「展示用」のシール貼り, 研究会報告:1年分
	理事会・その他会合関連	理事会配布資料, 編集委員会資料, 弁当手配(→総務係に依頼)

2.8.2 年次大会 各係準備事項チェックリスト(概要)

注) 下記はあくまで目安であり, 適宜見直して下さい。

事務局準備品以外で手配・作成が必要な物品類は, 担当の各係にて準備をお願い致します。

疑問点等ございましたら, 弊事務局までご相談下さい。

係 名		準備事項
総務係	事前作業	<input type="checkbox"/> 現地実行委員会の議事録作成 <input type="checkbox"/> 弁当配達手配: 実行委員, アルバイター, 事務局, 他. また, 理事会等の別会合分も一括手配. <input type="checkbox"/> 本部室用飲物の手配 <input type="checkbox"/> 実行委員名札作成(名刺版)→ケースは事務局が用意 <input type="checkbox"/> 会場外大会案内立て看板(広報係と連携) <input type="checkbox"/> 昼食場所確認, ランチマップ作成 <input type="checkbox"/> 保険加入(アルバイター, 実行委員会)
	前日 or 当日作業	<input type="checkbox"/> 本部室用品の搬入(パソコン, プリンタ, プリント用紙, 飲物等) <input type="checkbox"/> 本部室設営: ロの字形式(約30名程度) <input type="checkbox"/> 記録写真撮影
会計係	事前作業	<input type="checkbox"/> 各係りへの支払(お弁当代・保険代・備品消耗品)
	前日 or 当日作業	<input type="checkbox"/> 現金準備: アルバイト代(封筒詰, 宛名書き必要), つり銭準備 <input type="checkbox"/> アルバイト代の封筒詰, 宛名書き <input type="checkbox"/> 源泉徴収用領収書: アルバイト代(1日単位) <input type="checkbox"/> 受付係との連携確認 <input type="checkbox"/> 現金輸送ルートの確認 <input type="checkbox"/> 当日のクレジット処理 <input type="checkbox"/> 当日の参加申込・現金管理(受付係との連携) <input type="checkbox"/> 大会全体の会計および現金管理
受付係	事前作業	<input type="checkbox"/> 受付配置案の作成 <input type="checkbox"/> 受付用器財の手配(テーブル, ホワイトボード, 椅子, 文房具等) <input type="checkbox"/> 受付用各種表示の作成(特別受付, 事前受付, 当日受付等) <input type="checkbox"/> 受付アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 受付用名簿作成(元データは事務局より支給)

	前日 or 当日作業	<input type="checkbox"/> 受付アルバイトへの作業内容説明 <input type="checkbox"/> 受付設営 <ul style="list-style-type: none"> ・テーブル配置 ・受付用各種表示の掲示 ・予稿アクセス権(パスワード記載カード), 次第書等資料の開封・配列 ・受付用品の配列(受付名簿, 各種花リボン, 座長名札等) <input type="checkbox"/> つり銭用現金の確保 <input type="checkbox"/> 当日配布物の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・参加章兼領収書: 正・賛助会員/学生/非会員の3種類×2(事前/当日) ・懇親会参加章兼領収書: 一般/学生の2種類×2(事前/当日) <input type="checkbox"/> 当日の参加申込・現金管理(会計係との連携) <input type="checkbox"/> 参加者の計数と記録
会場係	事前作業	<input type="checkbox"/> 会場予約(見積書, 請求書入手) <input type="checkbox"/> 展示会場の設営把握(オプトロニクス社と連携) <input type="checkbox"/> 各会場の席の配置(プログラム委員長・副委員長と連携), 会場管理担当者に指示・監督 <input type="checkbox"/> 使用機器の手配・確保(含: プロジェクタ, PC, ケーブル, 変換器, マイク) <input type="checkbox"/> 会場吊看板, 立て看板の制作・設置手配 <input type="checkbox"/> 会場アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 各種案内の作成(次第書用会場案内図, 会場番号, 控え室, 休憩室, クローク, 締切, 案内矢印, 座長席表示, ポスター番号等)
	前日 or 当日作業	<input type="checkbox"/> 会場用器財の搬入: プロジェクター他 <input type="checkbox"/> 会場アルバイトへの作業内容説明 <ul style="list-style-type: none"> ・資料: マニュアル, 講演使用機器一覧, 講演進行状況報告書 <input type="checkbox"/> 講演会場設営 <ul style="list-style-type: none"> ・座長席設営(座長席表示, 会場用用品セット, 座長用予稿集) ・プロジェクター設置・試写, セレクター照明・マイクテスト等 ・吊看板, 立て看板の設置 ・式次第垂れ幕, 各種案内板の掲示
広報／懇親会係	事前作業	<input type="checkbox"/> 大会HPの作成, 更新 <input type="checkbox"/> 各種広報手段の検討(ポスター・チラシの作成, PR活動) <input type="checkbox"/> 懇親会場の確保 <input type="checkbox"/> イベント, 余興の検討 <input type="checkbox"/> 当日の懇親会進行の検討, 司会進行・来賓挨拶・乾杯・中締め担当の依頼 <input type="checkbox"/> 懇親会アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 懇親会場への誘導の検討 <input type="checkbox"/> 料理の検討
	前日 or 当日作業	<input type="checkbox"/> 懇親会アルバイトへの作業内容説明
アルバイト係	事前作業	<input type="checkbox"/> 必要アルバイト人数の集計 <input type="checkbox"/> アルバイトの確保 <input type="checkbox"/> アルバイトシフト作成
	前日 or 当日作業	<input type="checkbox"/> アルバイトへの説明会 <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト集合, 全般説明 ・各係りから業務内容の詳細説明
	当日作業	<input type="checkbox"/> アルバイト出欠 <input type="checkbox"/> 報酬の支払い, 回収物の確認